本資料のうち,枠囲みの内容は,機密事項に属しますので 公開できません。

柏崎刈羽原子力発電所第	7号機 工事計画審査資料
資料番号	KK7 本文-014 改 1
提出年月日	2020年6月11日

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 工事計画審査資料 放射性廃棄物の廃棄施設

2020 年 6 月 東京電力ホールディングス株式会社

- 5. 放射性廃棄物の廃棄施設
- 1 気体,液体又は固体廃棄物貯蔵設備
  - 1.1 濃縮廃液系
    - (2) 容器
      - a. 濃縮廃液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)
      - b. 濃縮廃液タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)
- 2 気体,液体又は固体廃棄物処理設備
  - 2.1 気体廃棄物処理系
    - (10) 主配管
  - 2.2 液体廃棄物処理系
    - 2.2.1 放射性ドレン移送系
      - (4) 容器
        - a. タービン建屋低電導度廃液サンプ
        - b. タービン建屋高電導度廃液サンプ
        - c. 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ(6号機設備,6,7号機共用)
      - (9) 主要弁
      - (10) 主配管
    - 2.2.2 低電導度廃液系
      - (10) 主配管
    - 2.2.3 高電導度廃液系
      - (1) 熱交換器
        - a. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)
        - b. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器(6号機設備,5,6,7号機共用)
      - (4) 容器
        - a. 高電導度廃液系収集タンク(5号機設備,5,6,7号機共用)
        - b. 高電導度廃液系収集タンク (6号機設備,5,6,7号機共用)
      - (10) 主配管
    - 2.2.4 圧力抑制室プール水排水系
      - (10) 主配管
  - 2.3 固体廃棄物処理系
    - 2.3.1 廃スラッジ系
      - (4) 容器
        - a. 復水浄化系逆洗水受タンク
        - b. 焼却炉建屋廃スラッジタンク(5号機設備,5,6,7号機共用)
      - (10) 主配管
    - 2.3.2 濃縮廃液系
      - (10) 主配管
  - 2.4 排気筒
    - (16) 排気筒

- a. 主排気筒
- 3 堰その他の設備
  - (2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰
    - a. 廃棄物処理建屋1階トラック室出入口(6号機設備,5,6,7号機共用)

- 5. 放射性廃棄物の廃棄施設
  - 1 気体,液体又は固体廃棄物貯蔵設備に係る次の事項
    - 1.1 濃縮廃液系
      - (2) 容器の名称,種類,容量,最高使用圧力,最高使用温度,主要寸法,材料及び個数並び に漏えい防止のための制御方法
  - a. 濃縮廃液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)

						変 更 前	変更後
		名		称		*1 濃縮廃液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種				類	_	たて置円筒形	
容				量	m³/個	*2(40*3)	
最	高	使	用	圧 力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	100	
	胴		内	径	mm	3500	
	胴	板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
	鏡	板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
						3500*2	
<u>+</u>	錇 杤	の形出	おに係	る寸法	mm	(鏡板の中央部における内面の半径)	
主	奶儿	V 712 17	/ (C )/\	0 114	шш	350* <sup>2</sup>	
						(すみの丸みの内半径)	
要	平 板	〔 〔 屋	と根)	厚さ	mm	6 (6*3)	変更なし
	管台	外径	(液入	口 * 5)	mm	60. 5*2	2000
寸	管台	厚さ	(液入	口 * 5)	mm	3. 9 (3. 9* <sup>3</sup> )	
	管台	外径	(液入	口 * 6)	mm	60. 5*2	
法	管台	厚さ	(液入	口 * 6)	mm	3. 9 (3. 9* <sup>3</sup> )	
	管台外	1径(オ	ーーバー	-フロー)	mm	114. 3*2	
	管台區	を (オ	ーーバー	-フロー)	mm	*4(6.0*2, *3)	
	管台	外 径	(液	出口)	mm	114. 3*2	
	管台	厚さ	(液	出口)	mm	*4(6.0*2, *3)	
	高			さ*7	mm	4806*8	
材	胴			板		SUS316L	
料	鏡			板	_	SUS316L	
個				数	_	3	
漏之	えい防」	止のため	めの制御	卸方法*9	_	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	
						似江田同による文八日期停止凹路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 濃縮廃液タンク」と記載。

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年6月28日付け60資庁第3007号にて認可された工事計画のIV-3-5-1-1「濃縮廃液タンクの強度計算書」による。

\*5:管台符号 N1 を示す。

\*6:管台符号 N2 を示す。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「5606」と記載。 記載内容は、設計図書による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

### b. 濃縮廃液タンク (6号機設備, 5,6,7号機共用)

					変 更 前	変更後
	名		称		*1 濃縮廃液タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種			類	_	たて置円筒形	
容			量	m³/個	*2(60*3)	
最	高 使	用归	王力	MPa	静水頭	
最	高 使	用	且 度	$^{\circ}$ C	100	
	胴	内	径	mm	3500	
主	胴 板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
	鏡板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
	鏡板の形	坐に区	スナ法	mm	3500*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
要	野 1人 ♥	1/1 (C )/i	9 1 1A	111111	350*2 (すみの丸みの内半径)	変更
	平板 (	屋 根 )	厚さ	mm	6 (6*3)	なし
寸	管台外徑	を(液ク	(口)	mm	60. 5* <sup>2</sup>	
	管台厚さ	さ(液ク	(口)	mm	3. 9 (3. 9*3)	
法	管台外徑	圣(液出	日 口 )	mm	114. 3*2	
	管台厚さ	5 (液出	日 )	mm	*4(6.0*2, *3)	
	高		さ*5	mm	6806*6	
材	胴		板		SUS316L	
料	鏡		板		SUS316L	
個			数		2	
漏之	えい防止のた	こめの制御	7方法*7	_	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液タンク」と記載。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-1-1「濃縮廃液タンクの強度計算書」による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「7606」と記載。 記載内容は、設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

- 2 気体,液体又は固体廃棄物処理設備に係る次の事項(機器がある処理能力を発揮することを目的として一体となった装置を構成する場合は、その装置の名称、種類、処理能力及び個数を付記すること。)
- 2.1 気体廃棄物処理系
- (10) 主配管の名称,最高使用圧力,最高使用温度,外径,厚さ及び材料

			変 更 後																			
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)		外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料		名	称		圧	使 用 力 Pa)	温		度外	k 径 (mm)		(mm)	さ	材	料
	*1 N21-F124, 125 ~	2. 45*2	225	216. 3*3	10. 3*3	STPT410*4								1		<b>1</b>		1		1		
	気体廃棄物処理系 排ガス予熱器			355. 6* <sup>3</sup>	15. 1* <sup>3</sup>	STPT410*4																
	気体廃棄物処理系 排ガス予熱器 ~ 気体廃棄物処理系 排ガス再結合器	2. 45*2	425	355. 6* <sup>3</sup>	11. 1* <sup>3</sup>	SUS316LTP																
気体廃棄:	気体廃棄物処理系 排ガス再結合器 ~ 気体廃棄物処理系 排ガス復水器	2. 45*2	425	406. 4*3	12. 7*3	SUS316LTP		気 体 廃 棄							変更	なし						
物処	気体廃棄物処理系 排ガス復水器	2. 45*2	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4		物処														
理系	~ 気体廃棄物処理系 除湿冷却器	0. 11*2	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4		理系														
	赤心(竹 <del>八</del> 石)  名音	0.11	00	60. 5*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4																
	気体廃棄物処理系 除湿冷却器 ~	0 11*2		60. 5*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4																
	気体廃棄物処理系 活性炭式希ガス ホールドアップ塔	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4																	

			変 更	 前													
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	ŀ	名	称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 料 (MPa)							
	気体廃棄物処理系活性 炭式希ガスホールド アップ塔連絡管	0. 11*2	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4											
	気体廃棄物処理系活性 炭式希ガスホールド アップ塔 〜 気体廃棄物処理系 排ガスフィルタ	0.11*2	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4											
	気体廃棄物処理系 排ガスフィルタ ~	処理系 ルタ 処理系	0. 11*2 66		114. 3*3	8.6*3	STPT410*4										
気体	気体廃棄物処理系 排ガス真空ポンプ			0. 11*2	0. 11*2	0. 11*2	0. 11*2	0. 11*2	0. 11*2	0. 11*2	66	60. 5*3 34. 0*3	5. 5*3 6. 4*3	STPT410*4 STPT410*4	気体		
廃棄物				165. 2*3	11. 0*3	STPT410*4	廃棄物			変更なし							
処				89. 1*3	5. 5*3	SUS304TP	処										
理系	気体廃棄物処理系 排ガス真空ポンプ ~	0 11*2	0. 11*2 66	89. 1*3	5. 5*3	SUS304TP	理										
	気体廃棄物処理系 排ガス循環水タンク			114. 3* <sup>3</sup>	6.0*3	SUS304TP											
	*5 気体廃棄物処理系 排ガス循環水タンク ~		165. 2* <sup>3</sup>	11. 0*3	STPT410*4												
	主排気筒入口配管合流部	0. 11*2	66	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4											
		0. 35*2	94	114. 3*3	8.6*3	STPT410*4											

			変更	前				変 更 後							
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 [I	更 さ (mm)	材	料		名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料
気 体 廃 棄 物	主排気筒 入口配管合流部 ~ 主排気筒	0.35*2	94	114. 3* <sup>3</sup> 660. 4* <sup>3</sup>	6. 0* <sup>3</sup> 9. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4 SM400B*6		気 体 廃 棄 物			変更が	a L			
処理系	*7 N33-F152A, B ~ 主排気筒 入口配管合流部	0. 35*2	94	318. 5*3 660. 4*3	10. 3* <sup>3</sup> 9. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4  SM400B*6		処 理 系							

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水器空気抽出系より気体廃棄物処理系排ガス予熱器まで」と記載。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「気体廃棄物処理系排ガス循環水タンクから排気筒まで」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41B」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービングランド蒸気系より排ガス循環水タンク出口配管まで」と記載。

#### 2.2 液体廃棄物処理系

- 2.2.1 放射性ドレン移送系
  - (4) 容器の名称,種類,容量,最高使用圧力,最高使用温度,主要寸法,材料及び個数 並びに漏えい防止のための制御方法
- a. タービン建屋低電導度廃液サンプ

							変 更 前	変更後
		名		秋	ŗ		タービン建屋低電導度廃液サンプ*1	
種					類	_	たて置円筒形	
容					量	m³/個	2. 5*2 (4*3)	
最	高	使	用	圧	力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温	度	$^{\circ}$ C	66	
	胴		内		径	mm	1750	
主	胴	板	<u>J</u>	孠	さ	mm	*4(6.0*3)	
	鏡	板	<u>J.</u>	孠	さ	mm	*4(6.0*3)	
要	V4 TL	o π/ 1	[. ] → <i>[</i> :	ナ フ	1. 24.		1750*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
寸	頻 忣	の形場	大 (こ 1)	<b>糸</b> る	小仏	mm	175*2 (すみの丸みの内半径)	変更
۱,۱	管台	外 径	(液	入口	] )	mm	89. 1*2	なし
法	管台	厚さ	(液	入口	])	mm	(5. 5*3)	
	高				さ*5	mm	1866*6	
材	胴				板	_	SUS304	
料	鏡				板	_	SUS304	
個					数	_	2	
漏之	えい防」	止のたる	めの制	削御方	法*7	_	液位高によるサンプポンプ1台自動起動回路 な位高高によるサンプポンプ2台自動起動 回路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) タービン建屋低電導度廃液サンプ」 と記載。

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は,設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-2「サンプの強度計算書(その2)」による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

### b. タービン建屋高電導度廃液サンプ

							変  更	前	変更後		
		名		<b></b>	尔		タービン建屋高電	真度廃液サンプ*1			
		名		<b>1</b> 7	小		(A)	(B)			
種					類		たて置い	円筒形			
容					量	m³/個	2.5*2(	4*3)			
最	高	使	用	圧	力	MPa	静水	頭			
最	高	使	用	温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66				
	胴		内		径	mm	175	0			
主	胴	板	,	厚	さ	mm	*4, *5	(6.0* <sup>3</sup> )			
	鏡	板	,	厚	さ	mm	*4, *5	(6. 0* <sup>3</sup> )			
要	☆ 七	の形は	止 1ァ	ロフ:			1750*2(鏡板の中央部に	こおける内面の半径)			
_1.	現 似	の形々	人 (C )	がつ	寸 伝	mm	175*2 (すみのす	しみの内半径)	変更		
寸	管台	外径	(沤	友入	□ )	mm	89. 1		なし		
法	管台	厚さ	(沤	友入	□ )	mm	(5.	*4, *5 . 5*3)			
	高				さ*6	mm	1866	*7			
材	胴				板	_	SUS304	SUS316L			
料	鏡				板	_	SUS304	SUS316L			
個					数	—	1	1			
							液位高によるサンプポ	ンプ1台自動起動回			
温冷	シルバケ	il のた	みの生	訓細士	<b>方</b> 注*8	1 <del>-L</del> )++ *8	± √+ *8	_	路		
1/附入	_ ∧ . ۱۹/1 -	、防止のための制御方法*8			14		液位高高によるサンプ	ポンプ2台自動起動			
							回距	各			

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4) タービン建屋高電導度廃液サンプ」 と記載。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-2「サンプの強度計算書(その2)」による。

\*5: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-1-3「サンプの強度計算書(その3)」による。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

c. 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)

•	// -//			_4 1, /	~// = 11		> (0 /J/1/XHX/I/m; 0; 1 /J/1/X/X//////	
							変更前	変更後
		名		称			*1 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	
種					類		たて置円筒形	
容					量	$\mathrm{m}^3$	2. 5*2(4*3)	
最	高	使	用	圧	力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66	
	胴		内		径	mm	1750	
主	胴	板	J	厚	さ	mm	*4(6.0*3)	
	鏡	板	J	厚	さ	mm	*4(6.0*3)	
要	錇 柘	の形	出に	係る、	十注	mm	1750*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	変更
寸	奶加加	V2 /12	7/ (C	NN .97 .	J 14	111111	175*2 (すみの丸みの内半径)	なし
ι,	管台	外径	: (液	友入 口	)	mm	89. 1*2	
法	管台	・厚さ	(液	支入 口	)	mm	(5. 5*3)	
	高			Č	さ*5	mm	1866*6	
材	胴				板		SUS304	
料	鏡				板	_	SUS304	
個					数		1	
							液位高によるサンプポンプ 1 台自動起動回路	
漏え	とい防し	止のた	めの制	引御方法	去*7	_	液位高高によるサンプポンプ 2 台自動起動回	
							路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ」 と記載。

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年10月13 日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-1「サンプの強度計算書 (その4)」による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「2060」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

(9) 主要弁の名称,種類,最高使用圧力,最高使用温度,主要寸法,材料,駆動方法, 個数及び取付箇所

		1111/1/20		X17 回//		
					変 更 前	変更後
	名		称		K11-F003*1	
種			類		止め弁	
最	高使月	用 圧	力	MPa	0.98*2	
最	高使月	用 温	度	$^{\circ}$	171*2	
主	呼	び	径	<b>—</b> *3	65A* <sup>4</sup>	
要寸	弁 箱	厚	さ	mm	以上*2	
法	弁ふこ	た厚	さ	mm	以上*2	
材	弁		箱	_	SCPH2	
料	弁 .	ふ	た		SCPH2	<del>*</del> = } }
駆	動	方	法		電気作動	変更なし
個			数		1	
	系	統	名	_	放射性ドレン移送系*2	
取付	設	置	床		#5 原子炉格納容器 T. M. S. L. −1700mm	
筃	溢水防区 画	i 護 上 番	の 号	_		
所	溢水防			_	_	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F003」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

				変更前	変更後
	名	称		K11-F004*1	
種		類	_	止め弁	
最	高使用圧	力	MPa	0.98*2	
最	高 使 用 温	度	${}^{\circ}\! \mathbb{C}$	171*2	
主	呼 び	径	<b>*</b> 3	65A* <sup>4</sup>	
要寸	弁 箱 厚	さ	mm	以上*2	
法	弁ふた厚	さ	mm	以上*2	
材	弁	箱	_	SCPH2	
料	弁ふ	た		SCPH2	亦再わり
駆	動方	法		電気作動	変更なし
個		数	_	1	
	系 統	名	_	放射性ドレン移送系*2	
取付	設 置	床		原子炉建屋 T. M. S. L. -1700mm	
笛	溢水防護上区 画番	の 号	_		
所	溢水防護上の 慮が必要な高			_	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F004」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は、 設計図書による。

					変更前	変更後
			14			文 义 仮
	名		称		K11-F103*1	
種			類		止め弁	
最	高 使	用圧	力	MPa	0.98*2	
最	高 使	用温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	171*2	
主	呼	び	径	<b>*</b> 3	65A*4	
要寸	弁 箱	厚	さ	mm	以上*2	
法	弁ふ	た厚	さ	mm	以上*2	
材	弁		箱		SCS16A	
料	弁	S	た		SCS16A	水田より
駆	動	方	法	_	電気作動	変更なし
個			数	_	1	
	系	統	名	_	放射性ドレン移送系*2	
取付付	設	置	床	_	原子炉格納容器 T. M. S. L. —1700mm	
笛	溢水 区 画		の 号	_		
所	溢水防 慮が必				_	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F103」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器内」と記載。記載内容は, 設計図書による。

					変 更 前	変更後
		名	称		K11-F104*1	
種			類		止め弁	
最	高 使	月圧	力	MPa	0.98*2	
最	高 使	月 温	l 度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	171*2	
主	呼	Ü	径	*3	65A* <sup>4</sup>	
要寸	弁	箱 厚	さ	mm	以上*2	
法	弁 爻	った厚	1 さ	mm	以上*2	
材	弁		箱	_	SCS16A	
料	弁	Š	た	_	SCS16A	<b>幸</b> 事(5.3)
駆	動	方	法	_	電気作動	変更なし
個			数	_	1	
	系	統	名	_	放射性ドレン移送系*2	
取					*5 原子炉建屋	
付	設	置	床	_	T. M. S. L. —1700mm	
<del>///</del>	溢水	 : 防 護 _	上の			
筃	区	画 番	号	_		
所	溢水	防護上	の配		_	
	慮が	必要な	高さ	_		

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「F104」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(呼び径 A)」と記載。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「65」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉格納容器外」と記載。記載内容は,

設計図書による。

# (10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

		7.2	変 更 前	Î					変更後
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	1 外 谷	[ P (mm)	材料		名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚
	*1 ドライウェル 低電導度廃液	0. 98*2	95	60. 5*3	5. 5*3	STPT410*4			
	サンプポンプ(A),(B) 〜 K11-F003	0.30	30	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup>	STPT410*4			
	*1 K11-F003    K11-F004	0. 98*2	171	76. 3*3	5. 2*3	STPT410*4			
放射性	*1 K11−F004 ~	0.98*2	66	76. 3*3	5. 2*3	STPT410*4	放射性		
ド	ドライウェル低電導度廃液 サンプポンプ出口配管合流部			76. 3*3	5. 2*3	SUS304TP	ド		
レン移送系	*1 ドライウェル低電導度廃液 サンプポンプ出口配管合流部 ~ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D)出口配 管合流部	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4	レン移送系		変更なし
	#1 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) 出口配管合流部 ~ 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410* <sup>4</sup>			

			変更前						
	名称		最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料		名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 (MPa) (°C) (mm) 4 様 (mm) は は は (mm) は は は (mm) は は は は は は は は は は は は は は は は は は
	#1 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部 ~ 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部(その1)	0. 98*2	66	89. 1* <sup>3</sup>	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4			
	*5 ドライウェル高電導度廃液 サンプポンプ(A),(B) ~ K11-F103	0. 98*2	66	60. 5*3 76. 3*3	3. 9* <sup>3</sup> 5. 2* <sup>3</sup>	SUS304TP SUS304TP			
放射性ド	*5 K11-F103    K11-F104	0. 98*2	171	76. 3*³	5. 2*3	SUS316LTP	放射性ド		
レン	*5 K11-F104 〜 ドライウェル低電導度廃液	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup> 5. 2* <sup>3</sup>	SUS304TP STPT410*4			変更なし
移 送 系	サンプポンプ出口配管合流部 *6 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D)			60. 5*3	5. 5*3	STPT410*4	移送系		
	〜 原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) 出口配管合流部 *6	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*3	STPT410*4			
	原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) ~	0. 98*²	66	60. 5*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4			
	原子炉建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部			76. 3*³	5. 2*3	STPT410*4			

		7	変 更 前							
	名称	最 高 使 用 圧 力 (MPa)	最高使用		径 厚 さ (mm)	材 *	타	名	称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (MPa) (℃)
	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A),(F)			60. 5*3	3. 9*3	SUS304TP				
	〜 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(D),(I) 出口配管合流部	0.98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup>	SUS304TP				
放射	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(D),(I) 出口配管合流部 ~ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(E),(J) 出口配管合流部	0. 98*2	66	89. 1* <sup>3</sup>	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP	放射			
性ドレン移送	*7 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(E),(J) 出口配管合流部 ~ 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部(その2)	0. 98*2	66	114. 3*³	6.0*3	SUS304TP	性 ドレン 移送			変更なし
系	*8 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(D),(I) ~	0.00*2	00	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP	系			
	原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ (D),(I) 出口配管合流部	0.98*2	66	76. 3*³	5. 2*3	SUS304TP				
	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(E),(J)			60. 5*3	3.9*3	SUS304TP				
	〜 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B),(G) 出口配管合流部	0.98* <sup>2</sup> ( 尊度廃液 B),(G)		76. 3*³	5. 2* <sup>3</sup>	SUS304TP				

		7	変 更 前											
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外   谷	厚 さ (mm)	材	ŀ	名称	最高使用 最高使用 外 径 厚					
	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B),(G) 出口配管合流部 ~ 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(C),(H) 出口配管合流部	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP								
	*9 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(C),(H) 出口配管合流部 ~	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP								
放射性	原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(E),(J) 出口配管合流部 *10			114. 3*3	6. 0*3	SUS304TP	放射性							
ドレ	原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B),(G) ~			60. 5*3	3.9*3	SUS304TP	ドレ		変更なし					
を移送	原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B),(G) 出口配管合流部	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*³	SUS304TP	移送							
系	*10 原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(C),(H) ~			60. 5*3	3. 9*3	SUS304TP	系							
	原子炉建屋高電導度廃液 サンプポンプ(C),(H) 出口配管合流部	0. 98*2	98*2 66	8*2 66 76. 3*3 5. 2*3 SUS304TP										
	#11 タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) ~			60. 5*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT370*12								
		0.00*2		76. 3*3	5. 2* <sup>3</sup>	STPT370*12								
	タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) 出口配管合流部	0. 98*2	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT370*12									

		7							
	名称	1	最高使用		厚 さ (mm)	材料		名称	最高使用最高使用外径厚发
	*11 タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) 出口配管合流部 ~ 放射性ドレン移送系 タービン建屋貫通部	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT370*12			
	*13 タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) ~	0.98*2	66	60. 5*3	5. 5*3	STPT370*12			
放	タービン建屋低電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) 出口配管合流部			76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup>	STPT370*12	放		
射性ド	*14 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) ~			60. 5*3	3.9*3	SUS304TP	射性ド		
レン移送	配管取合点(7号機放射性 ドレン移送系,廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その1)	0. 98*2	66	76. 3*3	5. 2*3	SUS304TP	レン移送		変更なし
系	*15 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(B),(D) ~			60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP	-		
	配管取合点(7号機放射性 ドレン移送系,廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その2)	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup>	SUS316LTP			
	*16 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部(その 1) <mark>~</mark> 低電導度廃液系収集槽 入口収集管	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	STPT410*4			

		7	変 更 前						
	名 称		最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	ł	名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚
	*17 放射性ドレン移送系 原子炉建屋貫通部 (その 2) ~ タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部	0. 98*2	66	114. 3*3	6. 0*3	SUS304TP			
放射性	*17 タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部 ~ K13-F024	0. 98*2	66	114. 3*3	6. 0*3	SUS304TP			
ドレン移送系	*18 配管取合点(7号機放射性 ドレン移送系,廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その1) ~ タービン建屋高電導度廃液 サンプポンプ(A),(C) 出口配管合流部	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*3	SUS304TP	ドレン移送系		変更なし
	*19 配管取合点(7号機放射性 ドレン移送系,廃棄物処理 建屋放射性ドレン移送系) (その2) ~ 高電導度廃液系放射性 ドレン移送配管合流部	0. 98*2	66	76. 3*³	5. 2* <sup>3</sup>	SUS316LTP			

			変 更 前							変更	 後					
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 名 (mm)	圣 厚 さ (mm)	材料		名 称	最高使用 圧 力 (MPa)		1 外 谷	厚 (mm)	され	才	料	
	*20 放射性ドレン移送系 タービン建屋貫通部 〜 K12-F113	0.98*2	66	89. 1* <sup>3</sup>	5. 5* <sup>3</sup>	STPT370*12						,	1			
+/.	圧力抑制室プール水 サージポンプ室 高電導度廃液サンプポンプ ~ 高電導度廃液系収集タンク	0. 98*2	66	60. 5*3	3. 9*3	SUS304TP	+1.									
放射性ドル	入口収集管 (床ドレン廃液用) (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98	00	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*³	SUS304TP	放射性ドル			7/15 -	更なし					
レン移送	廃棄物処理建屋 低電導度廃液サンプポンプ 〜 低電導度廃液系収集槽	0.98*2	66	60.5*3	60. 5*3 5. 5*3 STPT370*12	レン移送										
系	入口収集管 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)			76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*3	STPT370*12	<del>一</del> 送 系									
	廃棄物処理建屋 高電導度廃液サンプポンプ 〜 高電導度廃液系収集タンク	廃棄物処理建屋     60.5*3       3.9*3	SUS316LTP													
	入口収集管(化学廃液用) (6 号機設備, 6,7 号機共 用)			76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*3	SUS316LTP	ΓP									

		変	更 前							変 更 後
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 (mm)	径 厚 さ (mm)	材料		名	称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 料 (MPa) (°C)
放射性ドレ	サービス建屋 高電導度廃液サンプポンプ ~ 高電導度廃液系収集タンク 入口収集管(化学廃液用) (6 号機設備, 6,7 号機共	0. 98*2	66	60. 5* <sup>3</sup>	3. 9*3	SUS316LTP	放射性ドレ			変更なし
ン移送系	用)	0.00		76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*³	SUS316LTP	ン移送系			

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル低電導度廃液サンプポンプから第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*2:SI 単位に換算したものである。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル高電導度廃液サンプポンプからドライウェル低電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプからドライウェル低電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(F)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*8: 記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A)・(F)出口配管まで」と記載。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E),(J)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A)・(F)出口配管まで」と記載。

\*10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G),(C),(H)から原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E)・(J)出口配管まで」と記載。

\*11:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)から第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*13:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)からタービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A)・(C)出口配管まで」と記載。

\*14:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*15:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)から第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*16:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ,ドライウェル高電導度廃液サンプポンプ,原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプより第6号機低導度廃液系収集槽へ」と記載。

\*17:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプより第6号機高電導度廃液収集タンクへ」と記載。

\*18:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)より原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ出口配管まで」と記載。

\*19:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)より高電導度廃液系まで」と記載。

\*20:記載の適正化を行う。既工事計画書には「タービン建屋低電導度廃液サンプポンプより第6号機低電導度廃液系収集槽へ」と記載。

# 2.2.2 低電導度廃液系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

		3	变 更 前									変	更	後					
	名称		最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	: 厚 さ (mm)	材	ł	名	称	最高使力 压 (MPa)	用		度	外	径 nm)	(mm)	さ   1	オ	料
	低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6号機設備,6,7号機共 用)	0.98*1	66	89. 1*2 114. 3*2 165. 2*2 216. 3*2	5. 5*2 6. 0*2 7. 1*2 8. 2*2	STPT370*3  STPT370*3  STPT370*3													
低	低電導度廃液系収集槽 〜 低電導度廃液系収集ポンプ	静水頭	66	216. 3*2 216. 3*2 216. 3*2	8. 2* <sup>2</sup> 8. 2* <sup>2</sup> 8. 2* <sup>2</sup>	SUS304TP SUS304TP STPT370*3													
電導	(6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	216. 3* <sup>2</sup> 165. 2* <sup>2</sup>	8. 2* <sup>2</sup> 7. 1* <sup>2</sup>	STPT370*3 STPT370*3	電						亦正	<b>i</b> → <b>&gt;</b> 1					
度廃液系	低電導度廃液系収集ポンプ 〜 低電導度廃液系通水ポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	139. 8*2 165. 2*2 60. 5*2	6. 6*2 7. 1*2 5. 5*2	STPT370*3 STPT370*3 STPT370*3	度 廃 液 系						<b>发</b> 艾	<b>!</b> なし					
	7117	1. 37*1	66	76. 3*2 60. 5*2 89. 1*2	5. 2* <sup>2</sup> 5. 5* <sup>2</sup> 5. 5* <sup>2</sup>	STPT370*3  STPT370*3  STPT370*3													
	低電導度廃液系通水ポンプ 〜 低電導度廃液系ろ過器 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	1. 37*1	66	48. 6*2 60. 5*2 60. 5*2	5. 1*2 5. 5*2 3. 9*2	STPT370*3 STPT370*3 SUS304TP													

		7	変 更 前							変 更						
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	ł	名 称		最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 (mm)	さ材	料		
	低電導度廃液系ろ過器 〜 低電導度廃液系脱塩塔 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	1. 37*1	66	60. 5*2	3.9*2	SUS304TP			,							
	*4 低電導度廃液系ろ過器 ~	1. 37*1	66	76. 3* <sup>2</sup>	5. 2*2	SUS304TP										
	K21-F105 (6 号機設備,6,7 号機共 用)	0.98*1	66	76. 3* <sup>2</sup>	5. 2*2	SUS304TP										
	低電導度廃液系脱塩塔 ~			60. 5* <sup>2</sup>	3.9*2	SUS304TP										
低電	低電導度廃液系サンプル槽 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	1. 37*1	66	76. 3* <sup>2</sup>	5. 2*2	SUS304TP	低電									
導度廢	*5 低電導度廃液系脱塩塔 ~	1. 37*1	66	89. 1*2	5. 5*2	SUS304TP	導度			変更	なし					
廃液系	K21-F202 (6 号機設備,6,7 号機共 用)	0.98*1	66	89. 1*2	5. 5* <sup>2</sup>	SUS304TP	── 廃 液 									
N.	低電導度廃液系サンプル槽 ~	静水頭	66	165. 2* <sup>2</sup>	7. 1*2	SUS304TP										
	低電導度廃液系 サンプルポンプ	0. 98*1	66	165. 2* <sup>2</sup>	7.1*2	SUS304TP										
	(6 号機設備, 6,7 号機共 用)			139. 8*2	6.6*2	SUS304TP	3304TP									
	*6 低電導度廃液系 サンプルポンプ ~	*6 電導度廃液系 /プルポンプ		114. 3* <sup>2</sup>	6.0*2	SUS304TP	P									
		0.98*1	66	89. 1*2	5. 5*2	SUS304TP	304TP									

		7	変更	 前					
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)		刊 変	厚 さ (mm)	材料		名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 ** (MPa) (C) (mm) を
	*6 低電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管合流部 ~ 低電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	114. 3*2	6.0*2	SUS304TP			
低電導度	*6 低電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ 低電導度廃液系 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	114. 3*2	6.0*2	SUS304TP	低電導度		変更なし
廃液系	*7 K13-F145 ~ 低電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管合流部 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	89. 1*2	5. 5* <sup>2</sup>	SUS304TP	廃液系		
	*8 低電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ P13-F024 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	0.98*1	66	114. 3*2	6.0*2	SUS304TP			

注記\*1:SI単位に換算したものである。

\*2:公称値を示す。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系ろ過器から廃スラッジ系へ」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系脱塩塔から廃スラッジ系へ」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系サンプルポンプから補給水系へ」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系よりLCWサンプルポンプ出口配管まで」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「LCW サンプルポンプ出口配管から第7号機補給水系へ」と記載。

## 2.2.3 高電導度廃液系

- (1) 熱交換器の名称,種類,容量,最高使用圧力(管側及び胴側の別に記載すること。), 最高使用温度(管側及び胴側の別に記載すること。),伝熱面積,主要寸法,材料及び 個数
- a. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)

				変 更 前	変更後
		名称		高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種		類	_	たて置直管式	
容	量	(設計熱交換量)	MW/個	2. 95*2	
管	最	高 使 用 圧 力	MPa	0. 25*2	
側	最	高 使 用 温 度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	139	
胴	最	高 使 用 圧 力	MPa	0.44*2	
側	最	高 使 用 温 度	$^{\circ}\! \mathbb{C}$	166	
伝		熱 面 積	m <sup>2</sup> /個	*3 ( *4, *5)	
		胴 内 径*6	mm	700	
		鏡 板 厚 さ*7	mm	*8 (8. 0*5)	
				700*3	
主	管	鏡板の形状に係る寸法	mm	(鏡板の中央部における内面の半径)	
				70*3(すみの丸みの内半径)	変更
	/m/l	管台外径 (液入口)	mm	355. 6* <sup>3</sup>	なし
	側	管台厚さ (液入口)	mm	*8(8.0*3, *5)	
要		管台外径 (液出口)	mm	406. 4*3	
		管台厚さ (液出口)	mm	*8(8.0*3, *5)	
		フランジ厚さ	mm	*8(25.0*3, *5)	
		胴 内 径*9	mm	700	
十	胴	胴 板 厚 さ*10	mm	*8 (8. 0*5)	
,1	/11.3	管台外径 (蒸気入口)	mm	165. 2*3	
	側	管台厚さ (蒸気入口)	mm	*8 (6. 0*3, *5)	
		管台外径 (凝縮水出口)	mm	115. 0*3	
\/ <del>-</del>		管台厚さ (凝縮水出口)	mm	*8 (6. 0*3, *5)	
法	管	板厚さ	mm	*8 (39. 0*5)	
	伝	熱 管 外 径	mm		
	伝	熱 管 厚 さ	mm	*8 ( *5)	
	高	<b>*</b> 11	mm	$5214^{*12}$	

					変 更 前	変更後
	管	鏡	板		TP35H	
材	側	胴 フラ	ンジ	_	TB35H*3	
	胴側	胴	板	_	ТРЗ5Н	変更なし
料	管		板	_	ТР35Н	なし
	伝	熱	管	_	TTH35W	
個			数	_	2	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(5) 高電導度廃液系濃縮装置加熱器」と 記載。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「63」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*5:公称値を示す。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*8: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年6月28日付け60資庁第3007号にて認可された工事計画のIV-3-5-3-6「高電導度廃液系濃縮装置加熱器の強度計算書」による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*11:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には管の部分を含めた長さである「5541」と記載。記載内容は、設計図書による。

# b. 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)

							変 更 前	変更後
	名称						*1 高電導度廃液系濃縮装置加熱器 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種					類	_	たて置直管式	
容	量	( 設 計	熱交	換量	)	MW	2. 95*2	
管	最	高 使	10 用	圧	力	MPa	0. 25*2	
側	最	高 使	10 用	温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	139	
胴	最	高 使	も 用	圧	力	MPa	0. 44*2	
側	最	高 使	も 用	温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	166	
伝		熱	面		積	$\mathrm{m}^2$	*3( *4,*5)	
		胴	内	径	<b>5</b> *6	mm	700	
		鏡  桃	反 厚	さ	*7	mm	*8 (8. 0*5)	
		会長の	正公中)テ	ゼマ-	<del>*</del> * * * * * * * * * * * * * * * * * *	100.000	700*3 (鏡板の中央部における内面の半径)	
主	管	鏡板の	形状に	.徐る、	」伝	mm	70*3 (すみの丸みの内半径)	
		管台外	径(泊	夜入口	])	mm	318. 5*3	
	側	管台厚	(さ)	夜入□	])	mm	*8(8.0*3, *5)	
		管台外	径(泊	夜出口	])	mm	406. 4*3	**
要		管台厚	(さ)	夜出口	])	mm	*8(8.0*3, *5)	変更
		フラ	ンミ	ジ厚	さ	mm	*8 (25. 0*3, *5)	なし
		胴	内	径	<b>C</b> *9	mm	700	
	胴	胴 材	反 厚	さ	*10	mm	*8(8.0*5), *8(16.0*5)	
寸	/11. 1	管台外	径(蒸	気入口	])	mm	165. 2*3	
	/Bil	管台厚	さ(蒸	気入口	])	mm	*8 (6. 0*3, *5)	
	側	管台外	径(凝	縮水出	口)	mm	115. 0*3	
		管台厚	さ(凝液	縮水出	口)	mm	*8 (6. 0*3, *5)	
法	管	板	厚	更	さ	mm	*8 (39. 0*5)	
	伝	熱	管	外	径	mm		
	伝	熱	管	厚	さ	mm	*8( *5)	
	高			さ	*11	mm	5471* <sup>12</sup>	
	管	鏡			板	_	TP35H	
材	側	胴フ	, ラ	ン	ジ		TB35H*3	
	胴側	胴			板	_	ТР35Н	
料	管				板	_	TP35H	
	伝		熱		管	_	TTH35W	

		変	更	前	変更後
/i=i	*/-		1		変更
個	数 —		1		なし

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(4) 高電導度廃液系濃縮装置加熱器」と 記載。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「63」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*5:公称値を示す。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室内径」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「水室鏡板厚さ」と記載。

\*8: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-7「高電導度廃液系濃縮装置加熱器の強度計算書」による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体内径」と記載。

\*10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「胴体厚さ」と記載。

\*11:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には管の部分を含めた長さである「5798」と記載。記載内容は、設計図書による。

- (4) 容器の名称,種類,容量,最高使用圧力,最高使用温度,主要寸法,材料及び個数 並びに漏えい防止のための制御方法
- a. 高電導度廃液系収集タンク (5号機設備, 5,6,7号機共用)

						変 更 前	変更後
	2	名		称		*1 高電導度廃液系収集タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種				類	_	たて置円筒形	
容				量	m³/個	90*2(90*3)	
最	高	使	用	圧 力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温 度	$^{\circ}$ C	66	
	胴		内	径	mm	4500	
	胴	板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
	鏡	板	厚	. t	mm	*4(9.0*3)	
主						4500*2	
	☆ #	TT / LL	2 17 K	フーンナ		(鏡板の中央部における内面の半径)	
	規収の	形拟	、仁 徐	る寸法	mm	450*2	
要						(すみの丸みの内半径)	変更
女	平 板	(屋	根)	厚さ	mm	*2 6 (6*3)	を欠なし
	管台外	. 径	(液	入口*5)	mm	165. 2* <sup>2</sup>	
	管台厚	さ	(液	入口*5)	mm	*4(7.1*2, *3)	
寸	管台外	. 径	(液	入口*6)	mm	165. 2*2	
	管台厚	さ	(液	入口*6)	mm	*4(7.1*2, *3)	
	管台外径	(オ	ーバー	フロー)	mm	216. 3*2	
法	管台厚さ	(オ	ーバー	フロー)	mm	*4(8.2 *2, *3)	
	管台外	、径	(液	出口)	mm	139. 8*2	
	管台厚	[ さ	(液	出口)	mm	*4(6.6 *2, *3)	
	高			さ*7	mm	6406*8	
材	胴			板	_	SUS316L	
料	鏡			板	_	SUS316L	
個				数	_	4	
漏え	 とい防止の	りため	りの制	脚方法* <sup>9</sup>	_	液位高による入口弁自動切替回路	
					I .	あまたは「(1) 宣電道	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 高電導度廃液系収集タンク」と記載

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、昭和60年6月28日付け60資庁第3007号にて認可された工事計画のIV-3-5-3-3「高電導度廃液系収集タンクの強度計算書」による。

\*5: 管台符号 N1 を示す。

\*6:管台符号 N2 を示す。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「7206」と記載。 記載内容は、設計図書による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

## b. 高電導度廃液系収集タンク (6号機設備, 5,6,7号機共用)

						変 更 前	変更後
		名		称		*1 高電導度廃液系収集タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種						たて置円筒形	
容				量	m³/個	125*2(140*3)	
最	高	使	用	圧 力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温 度	$^{\circ}$	66	
	胴		内	径	mm	4800	
	胴	板	厚	さ	mm	*4(9.0*3)	
	鏡	板	厚	5 !	mm	*4(9.0*3)	
\ \.	会 坛	のます	上に 校	る寸法	mm	4800*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
主	現似	V2 115 1	八八万	(3) 1 広	mm	480*2 (すみの丸みの内半径)	
	平 板	〔 〔	昆根)	厚さ	mm	*2 6 (6*3)	変更
要	管台	外径	(液	入口*5)	mm	139. 8*2	変史 なし
	管台	厚さ	(液	入口*5)	mm	6. 6 (6. 6*3)	14 C
寸	管台	外径	(液	入口*6)	mm	114. 3*2	
	管台	厚さ	(液	入口*6)	mm	6. 0 (6. 0*3)	
法	管台外	1径(ス	ナーバー	-フロー)	mm	165. 2* <sup>2</sup>	
	管台區	すさ (ス	ナーバー	-フロー)	mm	*4(7.1*2, *3)	
	管台	外 径	(液	出口)	mm	165. 2* <sup>2</sup>	
	管台	厚さ	(液	出口)	mm	*4(7.1*2, *3)	
	高			さ*7	mm	8406*8	
材	胴			板		SUS316L	
料	鏡			板	_	SUS316L	
個				数	_	3	
漏え	とい防」	止のたる	めの制	御方法*9	_	液位高による入口弁自動切替回路	
	注記・1 ・記載の適正ルな行う					・ ・計画書には「(1) 京電道度成液系収集タンカコ	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(1) 高電導度廃液系収集タンク」と記載。

\*2:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年10月13日付け4資庁第8732号にて認可された工事計画のIV-3-4-3-4「高電導度廃液系収集タンクの強度計算書」による。

\*5:管台符号 N1 を示す。\*6:管台符号 N2 を示す。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書にはスカートを含めた高さである「9206」と記載。

記載内容は,設計図書による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

# (10) 主配管の名称,最高使用圧力,最高使用温度,外径,厚さ及び材料

		<u> </u>	変 更 前								変	更後			
	名称		最高使用 温 度 (℃)	外 径	厚 さ (mm)	材料		名	称	最高使用 圧 力 (MPa)		所 (mm) 径	厚 さ (mm)	材	料
	*1 高電導度廃液系放射性 ドレン移送配管合流部 ~ K13-F008	0.98*2	66	114. 3* <sup>3</sup>	6. 0* <sup>3</sup>	SUS316LTP									
	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (床ドレン廃液用) (5 号機設備, 5,6,7 号機共	0.98*2	66	89. 1*3	5. 5*3	SUS304TP									
高	用)			165. 2*3	7. 1*3	SUS304TP	高								
電導度	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (化学廃液用)	0.98*2	66	89. 1*3	5. 5*3	SUS316LTP	電導度				,	変更なし			
廃液	(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)		00	165. 2*3	7. 1*3	SUS316LTP	廃液				ž	文文(はし)			
系	*4 配管取合点(廃棄物処理建屋 高電導度廃液系,5号機高電 導度廃液系)(その2) ~ 高電導度廃液系収集タンク 入口収集管(化学廃液用) (5号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS316LTP	系								
	高電導度廃液系収集タンク 〜	静水頭	66	139. 8*3	6.6*3	SUS316LTP									
	高電導度廃液系収集ポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	139. 8*3	6.6*3	SUS316LTP									

		<u> </u>	変 更 前							変  更	後			
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	ł	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	1 外 谷	厚 さ (mm)	材	料
	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ~ 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 25*2	139	406. 4*3	12. 7*3	SUS316LTP								
高電導度	*5 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 ~ 高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 25*2	139	406. 4*3	12. 7*³	SUS316LTP	高電導度			変	更なし			
廃液系	*6 高電導度廃液系収集ポンプ 〜 高電導度廃液系収集ポンプ	0.98*2	66	89. 1*3 114. 3*3 48. 6*3	5. 5*3 6. 0*3 3. 7*3	SUS316LTP SUS316LTP SUS316LTP	廃液系							
	出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)		105	48. 6*3	3. 7*3	SUS316LTP								
	*6 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管合流部	0.98*2	105	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP								
	~ 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (5号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 25*2	139	60. 5* <sup>3</sup>	3.9*3	SUS316LTP								

											変	更 後			
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)		用	径 厚 (mm)	さ材	料
	高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ 〜 高電導度廃液系 濃縮装置加熱器 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 25*2	139	355. 6* <sup>3</sup>	11. 1*3	SUS316LTP									
	*7 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管合流部 ~ K13-F190A, B (5号機設備, 5,6,7号機共 用)	0.98*2	105	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP	高								
電導度廃液系	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ~ 高電導度廃液系 濃縮装置デミスタ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 25*2	139	355. 6* <sup>3</sup>	11. 1*3	SUS316LTP	電導度廃液系					変更なし			
	高電導度廃液系 濃縮装置デミスタ 〜 高電導度廃液系 濃縮装置復水器 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	静水頭	105	355. 6* <sup>3</sup>	11. 1*3	SUS304TP									
	高電導度廃液系 濃縮装置復水器 ~	静水頭	66	76. 3*³	5. 2*3	SUS304TP									
	高電導度廃液系蒸留水タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	一	00	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP									

	名称	最高使用	最高使用温度(℃)		厚 さ (mm)	材料		名	称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (mm) 4 材 料
	高電導度廃液系蒸留水タンク 〜 高電導度廃液系蒸留水ポンプ	静水頭	66	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP				
	(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	60. 5*3	3. 9*3	SUS304TP				
	*8 高電導度廃液系蒸留水ポンプ ~ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ			34. 0*3	3. 4*3	SUS304TP				
	出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	48. 6*3	3.7*3	SUS304TP				
高電導	*8 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 ~	0. 98*2	66	48. 6*3	3.7*3	SUS304TP	高電導			
度廃液	高電導度廃液系脱塩塔 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 30	00	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP	度廃液			変更なし
系	用) **9 高電導度廃液系脱塩塔 ~ 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	48. 6* <sup>3</sup>	3. 7*3	SUS304TP	系			
	*9 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 ~	0.00**		48. 6*3	3.7*3	SUS304TP				
	高電導度廃液系サンプル槽 (5号機設備, 5,6,7号機共 用)	0.98*2	66	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP				

			変更前							7	変  更	後				
	名 称		最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料		名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	温	所使用 度 (℃)	1 9	厚 (mm)	さ	t	料
	*10 高電導度廃液系脱塩塔 出口配管分岐部 ~ 高電導度廃液系蒸留水ポンプ 出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	48. 6*3	3. 7*3	SUS304TP										
高電	*11 高電導度廃液系脱塩塔 ~ 高電導度廃液系 (5号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 98*2	66	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP	高電									
導 度 廃	高電導度廃液系サンプル槽 〜 高電導度廃液系	静水頭	66	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP	導度廃				変	更なし				
液系	サンプルポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP	液系									
	, ,			89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP										
	*12 高電導度廃液系 サンプルポンプ 〜			60. 5*3	3.9*3	SUS304TP										
	高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	76. 3*³	5. 2*³	SUS304TP										

			変 更 前						
	名称		最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	ł	名	<ul><li>(MPa)</li><li>最高使用 最高使用 提高使用 性</li></ul>
	*12 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*³	SUS304TP			
高	*12 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 ~ K13-F072A, B (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	60. 5*3	3. 9*³	SUS304TP	高		
電導度廃液	*12,*13 K13-F072A,B ~ 高電導度廃液系貯留槽 (5 号機設備,5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP	電導度廃液		変更なし
系	*14 高電導度廃液系貯留槽 入口配管分岐部 ~ 配管取合点(5号機高電導度 廃液系,廃棄物処理建屋高電 導度廃液系)(その1) (5号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP	系		
	*15 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ K12-F058 出口配管合流部(5 号機設備,5,6,7 号機共用)	0. 98*2	66	76. 3* <sup>3</sup>	5. 2*³	SUS304TP			

		<u> </u>									変	 更 後			
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)		外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	<b>학</b>	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	1 外 径	厚 (mm)	さ材	料
	*16 K13-F024 ~	10		114. 3*3	6.0*3	SUS304TP					1				
	高電導度廃液系収集タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	139. 8*3	6.6*3	SUS304TP									
	高電導度廃液系収集タンク 入口収集管 (化学廃液用) (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	114. 3*3	6.0*3	SUS316LTP									
高	高電導度廃液系収集タンク 〜	静水頭	66	165. 2* <sup>3</sup>	7.1*3	SUS316LTP	高								
電導度	高電導度廃液系収集ポンプ (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	165. 2* <sup>3</sup>	7. 1*3	SUS316LTP	電導度				ז <i>ו</i>	で車よい			
及廃 液 系	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ~ 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 25*2	139	355. 6* <sup>3</sup>	11. 1*3	SUS316LTP	及 廃 液 系				3	変更なし			
	*5 高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部			77. 0*3	7.9*3	SUS316L									
	~ 高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ	0. 25*2	139	70.1*3	8.7*3	SUS316L									
	(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)			355. 6* <sup>3</sup>	11. 1*3	SUS316LTP									

			変 更 前						
	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	名	i 称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 料 (MPa)
	*6 高電導度廃液系収集ポンプ ~			139. 8*3	6.6*3	SUS316LTP			
	高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS316LTP			
	(6 号機設備,5,6,7 号機共 用)	0.30	00	40.8*3	6.8*3	SUS316L			
				47. 3*3	6. 4*3	SUS316L			
高	*6 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部 ~ 濃縮廃液タンク	0. 98*2	66	34. 0*3	3.4*3	SUS316LTP	高		
電導度	入口配管分岐部 (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)		139	34. 0*3	3. 4*3	SUS316LTP	電導度		変更なし
廃液系	*6 濃縮廃液タンク 入口配管分岐部 ~	0. 98*2	139	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP	廃液系		
	高電導度廃液系濃縮装置 蒸発缶出口配管合流部 (6号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 25*2	139	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP			
	*17 高電導度廃液系収集ポンプ 出口配管分岐部 ~ 配管取合点(廃棄物処理建屋 高電導度廃液系,5号機高電 導度廃液系)(その2) (6号機設備,5,6,7号機共 用)	0. 98*2	66	89. 1* <sup>3</sup>	5.5*3	SUS316LTP			

		7.								変	更 後			
		1	最高使用						最高使用	1	田			
	名称		温 度 (℃)	外 (mm)	厚 さ (mm)	材料		名称	E 力		が 度 (mm)	E 厚 さ (mm)	材	料
	高電導度廃液系 濃縮装置循環ポンプ ~ 高電導度廃液系 濃縮装置加熱器 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0. 25 *2	139	318. 5* <sup>3</sup>	10. 3*3	SUS316LTP								
	*15 濃縮廃液タンク 入口配管分岐部 ~ K13-F058 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.98 *2	139	60. 5* <sup>3</sup>	3.9*3	SUS316LTP								
高電導度	高電導度廃液系 濃縮装置蒸発缶 ~ 高電導度廃液系 濃縮装置復水器 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	静水頭	105	318. 5*3	10. 3*3	SUS304TP	高電導度				変更なし			
廃液系	高電導度廃液系 濃縮装置復水器 〜 高電導度廃液系蒸留水タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	静水頭	66	60. 5* <sup>3</sup>	3.9*3	SUS304TP	廃液系							
	高電導度廃液系蒸留水タンク ~	静水頭	66	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP								
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.98*2	66	60. 5*3	3.9*3	SUS304TP								
		0. 50	00	48. 6*3	3.7*3	SUS304TP								
	高電導度廃液系蒸留水ポンプ ~	0.98*2	66	34. 0*3	3.4*3	SUS304TP	_							
	高電導度廃液系脱塩塔 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0. 30	00	48. 6*3	3. 7*3	SUS304TP								

	名 称		最高使用		厚 さ (mm)	材料	4	名	称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 料 (MPa)
	高電導度廃液系脱塩塔 ~	4.0		60. 5*3	3.9*3	SUS304TP				
	高電導度廃液系サンプル槽 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.98*2	66	48. 6*3	3.7*3	SUS304TP				
	*18 高電導度廃液系脱塩塔 ~ 低電導度廃液系 高電導度廃液配管合流部 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0. 98*2	66	89. 1*3	5.5* <sup>3</sup>	SUS304TP				
	高電導度廃液系サンプル槽 〜 高電導度廃液系	静水頭	66	139. 8*3	6.6*3	SUS304TP				
高電	サンプルポンプ (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.98*2	66	114. 3*3	6.0*3	SUS304TP	高電			
導 度 廃	*19 高電導度廃液系 サンプルポンプ ~	0. 98*2	66	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP	- 導 度 廃			変更なし
液系	高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)			76. 3* <sup>3</sup>	5. 2* <sup>3</sup>	SUS304TP	液系			
	*19 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ 5 号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 (6 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	0. 98*2	66	89. 1*3	5.5* <sup>3</sup>	SUS304TP				
	*19 5 号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 ~ K13-F145 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.98*2	66	89. 1*3	5.5*3	SUS304TP				

			変更前					
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	報 高 使 用 最 高 使 用	料
高電導度廃	*20 高電導度廃液系サンプル ポンプ出口配管分岐部 ~ K13-F120 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用) *13,*20 K13-F120 ~ 放出カナル (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0. 98* <sup>2</sup>	66	89. 1*3 89. 1*3 114. 3*3	5. 5*3 5. 5*3 6. 0*3	SUS304TP  STPT410*21  STPT410*21		
液系	*22 配管取合点(5号機高電導度廃 液系,廃棄物処理建屋高電導 度廃液系)(その1) ~ 5号機高電導度廃液系貯留槽 入口配管合流部 (6号機設備,5,6,7号機共用)	0. 98*2	66	89. 1*³	5. 5* <sup>3</sup>	SUS304TP	液 系	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水脱塩装置ドレンストレーナより第6号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点から高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)まで」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶から高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプまで」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系収集ポンプから蒸発缶出口配管まで」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「収集ポンプ出口配管から濃縮廃液系まで」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系蒸留水ポンプから高電導度廃液系脱塩塔まで」と記載。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から高電導度廃液系サンプル槽まで」と記載。

\*10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「脱塩塔出口配管から脱塩塔入口配管まで」と記載。

\*11:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から廃スラッジ系まで」と記載。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系サンプルポンプから高電導度廃液系貯留槽まで」と記載。

\*13:本設備は記載の適正化のみを行うものであり、手続き対象外である。

\*14:記載の適正化を行う。既工事計画書には「貯留槽入口配管から後続号機取合点まで」と記載。

\*15:記載の適正化を行う。既工事計画書には「貯留槽入口配管から低電導度廃液系まで」と記載。

\*16:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系収集タンク入口収集管(床ドレン廃液用)」と記載。

\*17:記載の適正化を行う。既工事計画書には「収集ポンプ出口配管から第5号機高電導度廃液系収集タンクへ」と記載。

\*18:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系脱塩塔から低電導度廃液系へ」と記載。

\*19:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系サンプルポンプから低電導度廃液系へ」と記載。

\*20:記載の適正化を行う。既工事計画書には「サンプルポンプ出口配管から放出カナルへ」と記載。

\*21:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書による。

\*22:記載の適正化を行う。既工事計画書には「第5号機高電導度廃液系よりサンプルポンプ出口配管まで」と記載。

## 2.2.4 圧力抑制室プール水排水系

(10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

		2	変 更 前							変	更後			
	名称		最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料		名 称	最高使用 圧 力 (MPa)		用 女 (mm) 径	厚 さ (mm)	材	料
	U49−F071 ~ U49−F072	1.72*2	66	165. 2*³	7. 1* <sup>3</sup>	SUS304TP						,		
圧力抑制	*4 圧力抑制室プール水サージ タンク室入口 ~ 圧力抑制室プール水 サージポンプ出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	165. 2*³	7. 1*3	SUS304TP	上							
室プール水排水	*4 圧力抑制室プール水 サージポンプ出口配管合流部 〜 圧力抑制室プール水 サージタンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	165. 2*³	7. 1* <sup>3</sup>	SUS304TP	室プール水排水				変更なし			
系	圧力抑制室プール水 サージタンク 〜	静水頭	66	165. 2*³	7. 1*3	SUS304TP	系							
	圧力抑制室プール水 サージポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	66	165. 2*3	7.1*3	SUS304TP								

			変 更 前							変	更 後		
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	1 外 谷	厚 さ 材	料
	*5 圧力抑制室プール水 サージポンプ 〜 圧力抑制室プール水 サージポンプ出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	66	139. 8*³	6.6*3	SUS304TP							
圧力	*6 E11-F047 ~ 圧力抑制室プール水サージ	0.98*2	66	165. 2*3 165. 2*3	7. 1*3 7. 1*3	STPT42 SUS304TP	圧力						
抑制室	タンク室入口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 96*2	66	165. 2*3	7. 1*3	STPT42	加 制 室						
プール水排水	*6 圧力抑制室プール水サージ タンク室入口配管合流部 ~ 圧力抑制室プール水サージ タンク室入口 (5 号機設備, 5, 6, 7 号機共 用)	0. 98*2	66	165. 2* <sup>3</sup>	7.1*3	SUS304TP	プール水排水			<b>7</b>	変更なし		
系	*7 配管取合点(6号機圧力 抑制室プール水排水系, 5号機圧力抑制室プール水排 水系) ~ 圧力抑制室プール水サージタ ンク室入口配管合流部 (5号機設備,5,6,7号機共 用)	0.98*2	66	165. 2*³	7.1*3	SUS304TP	系						

		7	変 更 前						変 更 後
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (MPa) (°C) な (mm) を で は (mm) な が は (mm) は が は が は が は が は が は が は が は が は が は
圧	*8 U49-F061 ~	1.72*2	66	165. 2*3	7. 1*3	SUS304TP	圧		
力抑	U49-F062 入口配管分岐部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	165. 2*3	7. 1*3	SUS304TP	力抑		
制室プール水	*8 U49-F062 入口配管分岐部 ~ 配管取合点(6 号機圧力抑制 室プール水排水系,5 号機圧 力抑制室プール水排水系) (6 号機設備,6,7 号機共用)	0. 98*2	66	165. 2*3	7. 1*3	SUS304TP	制室プール水		変更なし
排水	*9 U49−F072 ~	1.72*2	66	165. 2* <sup>3</sup>	7.1*3	SUS304TP	排水		
系	U49-F062 入口配管分岐部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	165. 2*3	7. 1*3	SUS304TP	系		

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系より第6号機圧力抑制室プール水排水系へ」と記載。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「屋外取合点から圧力抑制室プール水サージタンクまで」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「圧力抑制室プール水サージポンプからサージタンク入口配管まで」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系から屋外取合点まで」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点からサージタンク入口配管まで」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「残留熱除去系より第5号機圧力抑制室プール水排水系へ」と記載。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機取合点よりサージタンク入口配管まで」と記載。

#### 2.3 固体廃棄物処理系

- 2.3.1 廃スラッジ系
  - (4) 容器の名称,種類,容量,最高使用圧力,最高使用温度,主要寸法,材料及び個数 並びに漏えい防止のための制御方法
- a. 復水浄化系逆洗水受タンク

							変 更 前	変更後
		名		称			復水浄化系逆洗水受タンク*1	
種					類	_	たて置円筒形	
容					量	$\mathbf{m}^3$	50*2(50*3)	
最	高	使	用	圧	力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温	度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66	
	胴		内		径	mm	3200	
	胴	板	<u>J.</u>	孠	さ	mm	*4(12.0*3)	
主	鏡	板	<u>J.</u>	<b></b>	さ	mm	*4(12.0*3)	
	会 坛	の形り	<b> </b>   ト	系る寸	· 注	mm	3200*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
要	<b>姚 似</b>	V) 115 2	// (C ]	来る 1	14	mm	320*4 (すみの丸みの内半径)	
	平 板	( )	量 根	) 厚	さ	mm	9. 0 (9. 0* <sup>3</sup> )	変更なし
寸	管台	外径	(液	え入口	)	mm	406. 4*2	なし
	管台	厚さ	(液	入口	)	mm	(12. 0*3)	
法	管台	外径	(液	过出口	)	mm	165. 2*2	
	管台	厚さ	(液	世口	)	mm	$(7.1^{*3})$	
	高			Ş	*5	mm	7791* <sup>6</sup>	
材	胴				板	_	SUS304	
料	鏡				板	_	SUS304	
個					数	_	1	
漏え	えい防」	上のた	めの制	削御方法	*7	_	液位高による受入自動阻止回路 液位高高による受入自動停止回路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) 復水浄化系逆洗水受タンク」と記載。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成4年3月27日付け3資庁第13034号にて認可された工事計画のIV-3-3-2-2「復水浄化系逆洗水 受タンクの強度計算書」による。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*6 : 記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「8719」と記載。記

載内容は,設計図書による。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

b. 焼却炉建屋廃スラッジタンク (5号機設備,5,6,7号機共用)

						変更前	変更後
		名		称		焼却炉建屋廃スラッジタンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	
種				類	_	たて置円筒形	-
容				量	$\mathrm{m}^3$	39*2(40*3)	
最	高	使	用	王 力	MPa	静水頭	
最	高	使	用	温 度	$^{\circ}\!\mathbb{C}$	66	
	胴		内	径	mm	3000	
	胴	板	厚	さ	mm	*4(8.0*3)	
主	鏡	板	厚	さ	mm	*4(8.0*3)	
	☆ +⊏	on Tri. ↓⊔	L 17 K	フーン		3000*2 (鏡板の中央部における内面の半径)	
	現 収	07 形 初	へに徐	る寸法	mm	300*2 (すみの丸みの内半径)	
要	平 板	(屋	と 根 )	厚さ	mm	8. 0 (8. 0*3)	変更
	管台外	径(廃	スラッジ	入口*5)	mm	60.5 *2	なし
	管台厚	で(廃	スラッジ	·入口*5)	mm	(3. 90*3)	
寸	管台外	径(廃	スラッジ	入口*6)	mm	60.5 *2	
	管台厚	では(廃	スラッジ	·入口*6)	mm	(3. 90*3)	
法	管台外	径(廃	スラッシ	ジ出口)	mm	114. 3*2	
	管台厚	では(廃	スラッシ	ジ出口)	mm	(6. 00*3)	
	高			さ*7	mm	7238*8	
材	胴			板	_	SUS304	
料	鏡			板	_	SUS304	
個				数	_	1	
漏之	えい防」	上のたる	めの制御	『方法*9		液位高による受入自動阻止回路	
			ン本エル			液位高高による受入自動停止回路	

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「(2) 焼却炉建屋廃スラッジタンク」と記載。

\*2: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。

\*3:公称値を示す。

\*4: 既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成15年2月21日付け平成14·11·07原第11号にて認可された工事計画のV-3-1-2-1「焼却炉建屋廃スラッジタンクの強度計算書」による。

\*5:管台符号 N-1 を示す。 \*6:管台符号 N-2 を示す。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「全高」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には支持脚を含めた高さである「8038」と記載。記

載内容は,設計図書による。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「制御方法」と記載。

## (10) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料

		3	変 更 前							変 更 後
	名称		最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料		名	称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度
	原子炉冷却材浄化系 逆洗水受タンク	静水頭	66	114. 3*1	6. 0*1	SUS304TP				
	~ 原子炉冷却材浄化系	1. 37*2	66	114. 3*1	6.0*1	SUS304TP				
	逆洗水移送ポンプ		00	89. 1*1	5. 5*1	SUS304TP				
	*3 原子炉冷却材浄化系 逆洗水移送ポンプ			60. 5*1	3.9*1	SUS304TP				
	~ 廃スラッジ系	1. 37*2	66	76. 3*¹	5. 2*1	SUS304TP				
廃	原子炉建屋貫通部			48. 6*1	3. 7*1	SUS304TP	_ _ 廃			
ス	復水浄化系逆洗水受タンク ~	静水頭	66	165. 2* <sup>1</sup>	7. 1*1	SUS304TP	ス			
ラッ	復水浄化系 逆洗水移送ポンプ	1. 37*2	66	165. 2* <sup>1</sup>	7. 1*1	SUS304TP	ラッツ			変更なし
ジ 系				139. 8*1	6.6*1	SUS304TP	ジ - 系			
	*4 復水浄化系 逆洗水移送ポンプ			89. 1*1	5. 5*1	SUS304TP				
	~ 廃スラッジ系	1. 37*2	66	114. 3*1	6.0*1	SUS304TP				
	タービン建屋貫通部			139. 8*1	6.6*1	SUS304TP				
				76. 3* <sup>1</sup>	5. 2*1	SUS304TP				
	*5 廃スラッジ系 原子炉建屋貫通部 〜 K21-F171	1. 37*2	66	48. 6*1	3. 7*1	SUS304TP				

			変 更 前						
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度
	*6 廃スラッジ系 タービン建屋貫通部 〜 K21-F173	1. 37*2	66	76. 3*¹	5. 2*1	SUS304TP			
	*7 廃スラッジ系受ポンプ ~ K21-F220A, B	0.98	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
	(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	0.30	00	89.1*1	5. 5*1	SUS304TP			
廃		1. 37	66	60.5*1	3.9*1	SUS304TP			
スラ	*7 K21-F220A, B ~ 乾燥機給液タンク	1. 37	66	60.5*2	3.9*2	SUS304TP	ス ラ		変更なし
ッジ系	(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)			60.5*1	3.9*1	SUSF304	ッ ジ 系		
	*8 K21-F220A, B ~ K21-F223A, B (5 号機設備, 5, 6, 7 号機共 用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
	*8 K21-F223A, B ~ 配管取合点(5 号機廃スラッ ジ系,焼却炉建屋廃スラッジ 系) (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	2740	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			

										変				
	名 称	最高使用	最高使用 温 度 (℃)		厚 さ (mm)	材 彩	+	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用	外。经	厚 さ (mm)	材	料
	*9 配管取合点(廃棄物処理建屋 廃スラッジ系,5号機廃スラ ッジ系) ~ K21-F223A,B (5号機設備,5,6,7号機共 用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3. 9*1	SUS304TP								
<b>廃</b> スラ	*10 配管取合点(5 号機廃スラッ ジ系,焼却炉建屋廃スラッジ 系) ~ K21-F401A,B (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	60. 5*1	3. 9*1	SUS304TP	- - - - - - - -							
/ ツ ジ 系	*10 K21-F401A, B ~ 焼却炉建屋 廃スラッジタンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	60. 5*1	3. 9*1	SUS304TP	- ツジ系			<b>3</b>	変更なし			
	#11 焼却炉建屋 廃スラッジタンク ~ 焼却炉建屋	静水頭	66	114. 3*1	6. 0*1	SUS304TP								
	廃スラッジタンク 出口配管合流部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	114. 3*1	6. 0*1	SUS304TP								

	名称	圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材料	<b>斗</b>	名 称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (mm) 4
	#11 焼却炉建屋 廃スラッジタンク 出口配管合流部 ~			114. 3*1	6.0*1	SUS304TP			
	焼却炉建屋 廃スラッジポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	139. 8*1	6.6*1	SUS304TP			
廃スラッ	#12 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 〜 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	114. 3*1	6.0*1	SUS304TP	アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・ア		変更なし
ジ 系 	*12 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 ~	1. 37	66	114. 3*1	6.0*1	SUS304TP	ジ 系		
	焼却炉建屋 廃スラッジ供給ポンプ (5号機設備,5,6,7号機共 用)			48.6*1	3.7*1	SUS304TP			
	焼却炉建屋 廃スラッジ供給ポンプ 〜	1. 37	66	17. 3*1	3. 2*1	SUS304TP			
	雑固体系焼却炉 (5 号機設備,5,6,7 号機共 用)	1.01		21. 7*1	3.7*1	SUS304TP			

			変 更 前						
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (MPa) (°C)
	*13 K21-F401A, B 〜 焼却炉建屋 廃スラッジポンプ 出口配管分岐部 (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
廃	#14 焼却炉建屋 廃スラッジタンクデカント部 ~ 焼却炉建屋	静水頭	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
スラッ	廃スラッジタンク 出口配管合流部 (5号機設備,5,6,7号機共 用)	1. 37	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP	スラッ		変更なし
系	*15 廃スラッジ系 原子炉建屋貫通部 ~ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37*2	66	76. 3* <sup>1</sup>	5. 2*1	SUS304TP	ジ 系		
	#16 廃スラッジ系 タービン建屋貫通部 ~ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37*2	66	76. 3* <sup>1</sup>	5. 2*1	SUS304TP			

		:	変 更 前							
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用	外 (mm)	経 厚 さ (mm)	材	料	<b>全</b>	3 称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (MPa) (℃) な (mm) を 様 料
	*17 K21-F171 ~ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6 号機設備,6,7 号機共用)	1. 37*2	66	48. 6*1	3.7*1	SUS304TP				
	*18 K21-F173 ~ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37*2	66	76. 3* <sup>1</sup>	5. 2*1	SUS304TP				
廃スラ	*19 K21-F105 ~ 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	76. 3*1	5. 2*1	SUS304TP	アンラ			
ッジ系	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 ~	静水頭	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370* <sup>20</sup>				変更なし
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370* <sup>20</sup>				
	#21 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ ~	0.98*2	66	48. 6*1	5. 1*1	STPT370* <sup>20</sup>				
	原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6号機設備,6,7号機共用)	0.98**	00	60. 5*1	5. 5*1	STPT370* <sup>20</sup>				

			変 更 前							
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	1 外 谷	厚 さ ;	材	料	名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚 (mm) (MPa) (°C)	さ材料
	*22 K21-F202 ~ 使用済樹脂槽 (6 号機設備,6,7 号機共用)	0.98*2	66	89. 1*1	5. 5*1	SUS304TP				
	*23 K21-F201 ~ 使用済樹脂槽 (6 号機設備,6,7 号機共用)	0. 98*2	66	114. 3*1	6. 0*1	SUS304TP				
廃	使用済樹脂槽 ~ 使用済樹脂槽	静水頭	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370*20	廃			
スラ	デカントポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0. 98*2	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370*20	スラ		変更なし	
ジ系	使用済樹脂槽 デカントポンプ 〜 低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	48. 6*1	5. 1*1	STPT370* <sup>20</sup>	 ッ ジ 系		<b>変文/</b> なじ	
	*24 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 ~ スラッジ移送ポンプ	静水頭	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP				
	入口配管合流部 (6 号機設備, 6,7 号機共 用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP				

		7	変 更 前						
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ 材		料	名 称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 (mm) が (mm) が (mm) が は が (mm) が が (mm) が (mm) が が が (mm)
	*24 スラッジ移送ポンプ 入口配管合流部 ~ スラッジ移送ポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
	*25 使用済樹脂槽 〜 スラッジ移送ポンプ	静水頭	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
廃ス	入口配管合流部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3. 9*1	SUS304TP	廃ス		
ラッジ	*26 スラッジ移送ポンプ ~	1.37*2	66	34. 0*1	3. 4*1	SUS304TP	ラ ッ ジ		変更なし
系	スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	1. 37	00	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP	系		
	*26 スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 ~ 配管取合点(廃棄物処理建屋 廃スラッジ系,5号機廃スラッジ系) (6号機設備,6,7号機共用)	1. 37*2	66	60. 5*1	3. 9*1	SUS304TP			

		7	変 更 前						
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)		外 径 (mm)	厚 さ ;	材	料	名 称	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (mm) 4
	*27 スラッジ移送ポンプ 出口配管分岐部 ~ 原子炉冷却材浄化系	1. 37*2	66	60. 5*1	3.9*1	SUS304TP			
廃スラ	粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370* <sup>20</sup>	廃スラ		が再わり
ッジ系	#27 原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽 デカントポンプ 出口配管合流部 ~ 低電導度廃液系収集槽 入口収集管 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	0.98*2	66	60. 5*1	5. 5*1	STPT370* <sup>20</sup>	ッ ジ 系		変更なし

注記\*1:公称値を示す。

\*2:SI単位に換算したものである。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプから第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプから第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプより第6号機原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽へ」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃スラッジ系受ポンプから固化系まで」と記載。

\*8:記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃スラッジ系受ポンプ出口配管から後続設備取合点まで」と記載。

\*9:記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続設備接続配管から後続号機取合点まで」と記載。

\*10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続設備接続配管から焼却炉建屋廃スラッジタンク」と記載。

\*11:記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジタンクから焼却炉建屋廃スラッジポンプ」と記載。

\*12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジポンプから焼却炉建屋廃スラッジ供給ポンプ」と記載。

\*13:記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管から焼却炉建屋廃スラッジタンク入口配管」と記載。

\*14:記載の適正化を行う。既工事計画書には「焼却炉建屋廃スラッジタンクから焼却炉建屋廃スラッジポンプ入口配管」と記載。

\*15:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。

\*16:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。

\*17:記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。

- \*18:記載の適正化を行う。既工事計画書には「第7号機復水浄化系逆洗水移送ポンプより原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。
- \*19:記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系より原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽まで」と記載。
- \*20:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。記載内容は、設計図書による。
- \*21:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプからデカント水戻り配管まで」と記載。
- \*22:記載の適正化を行う。既工事計画書には「低電導度廃液系より使用済樹脂槽まで」と記載。
- \*23:記載の適正化を行う。既工事計画書には「復水浄化系及び第7号機復水浄化系より使用済樹脂槽まで」と記載。
- \*24:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽からスラッジ移送ポンプまで(予備配管を含む。)」と記載。
- \*25:記載の適正化を行う。既工事計画書には「使用済樹脂槽からスラッジ移送ポンプ入口配管まで」と記載。
- \*26:記載の適正化を行う。既工事計画書には「スラッジ移送ポンプから第5号機廃スラッジ系へ(予備配管を含む。)」と記載。
- \*27:記載の適正化を行う。既工事計画書には「スラッジ移送ポンプ出口配管から低電導度廃液系収集槽入口収集管まで」と記載。

## 2.3.2 濃縮廃液系

(10) 主配管の名称,最高使用圧力,最高使用温度,外径,厚さ及び材料

			変更	前			変 更 後														
	名 称		最高使用 温 度 (℃)	1 外 谷	厚 さ (mm)	材	料		名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃) (mm)	厚 さ (mm)	材	料						
	*1 K13-F190A, B ~ 濃縮廃液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0.98*2	105	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP															
	濃縮廃液タンク ~	静水頭	100	114. 3*3	6. 0*3	SUS316LTP															
	濃縮廃液ポンプ (5 号機設備, 5,6,7 号機共 EV	0.98*2	100	114. 3* <sup>3</sup> 139. 8* <sup>3</sup>	6. 0*3 6. 6*3	SUS316LTP															
濃	用) *4 濃縮廃液ポンプ ~	0. 98*2						100	89. 1*3 48. 6*3	5. 5* <sup>3</sup> 3. 7* <sup>3</sup>	SUS316LTP		濃								
縮	乾燥機給液タンク		100	48. 6*3	3. 7* <sup>3</sup>	SUSF316L		縮													
廃液	(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)		66	48.6*3	3.7*3	SUS316LTP		廃液			変更な	変更なし									
系	*5 配管取合点 (廃棄物処理建屋 濃縮廃液系, 5 号機固化系) ~ 乾燥機給液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	1. 37*2	66	48. 6*3	3. 7*3	SUS316LTP		系													
	*1 K13-F058 ~ 濃縮廃液タンク (6 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	0. 98*2	105	60. 5*3	3.9*3	SUS316LTP															

			変更	 前			変 更 後					
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径 / (mm)	厚 さ (mm)	材	料	名	称	最高使用 最高使用 外 径 厚 さ 材 (mm) (MPa) (°C)	料	
	濃縮廃液タンク 〜 濃縮廃液ポンプ (6 号機設備, 5,6,7 号機共	静水頭	100	114. 3*3	6.0*3	SUS316LTP						
濃縮	用)	1. 37*2	100	114. 3*3	6.0*3	SUS316LTP	濃縮			The set A		
廃液系	*6 濃縮廃液ポンプ ~		100	89. 1*3	5. 5* <sup>3</sup>	SUS316LTP	<b>産</b> 液 系			変更なし		
	配管取合点(廃棄物処理建屋 濃縮廃液系,5号機固化系)	1. 37*2	100	48.6*3	3. 7*3	SUS316LTP	不					
	(6 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)		66	48. 6*3	3. 7*3	SUS316LTP						

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「高電導度廃液系から濃縮廃液タンクまで」と記載。

\*2:SI 単位に換算したものである。

\*3:公称値を示す。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液ポンプから固化系まで」と記載。 \*5:記載の適正化を行う。既工事計画書には「後続号機取合点から固化系まで」と記載。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「濃縮廃液ポンプから第5号機濃縮廃液系へ」と記載。

#### 2.4 排気筒

(16) 排気筒の名称,種類,主要寸法,材料及び個数(内筒及び外筒の別に記載すること。)

#### a. 主排気筒

				変 更 前	変更後				
	名	称		主排気筒*1	主排気筒*2				
種		類		四角鉄塔支持形鋼管構造 (制震装置付 [減衰係数:1.2×10 <sup>5</sup> N·s/m]) (原子炉建屋屋上設置) 外筒:換気空調系用 内筒:非常用ガス処理系用					
主要	内	径	m	外筒:2.4 内筒:0.3	変更なし				
寸法	地表上	の高さ	m	外筒: 73 内筒: 73					
材		料		外筒:SMA400AP* <sup>3</sup> 内筒:STPT410 <sup>*4</sup>					
個		数	_	外筒:1 内筒:1					

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「排気筒」と記載。記載内容は,設計図書による。

\*2: 主排気筒(内筒)は原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(耐圧強化ベント系),原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(非常用ガス処理系,耐圧強化ベント系)と兼用。

\*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「SMA41A」と記載。記載内容は、設計図書に よる。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT42」と記載。記載内容は、設計図書に よる。

- 3 堰その他の設備に係る次の事項
- (2) 原子炉格納容器本体外に設置される流体状の放射性廃棄物を内包する容器からの流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する堰(放射性廃棄物運搬用容器にあっては、流体状の放射性廃棄物の施設外への漏えいを防止するために施設する設備)の名称、主要寸法、材料及び取付箇所並びに床面及び壁面の塗装の範囲及び材料
- a. 廃棄物処理建屋1階トラック室出入口(6号機設備,5,6,7号機共用)

						変 更 前	変 更 後				
	名称					廃棄物処理建屋1階 トラック室出入口 (6号機設備,5,6,7号機 共用)* <sup>1</sup>	* 廃棄物処理建屋1階 トラック室出入口 (6号機設備,5,6,7号機 共用)				
	種		类	頁* <sup>3</sup>			止水堰				
主要寸法	堰 の 高 さ mm					200 以上*4	変更なし 400 以上* <sup>5</sup>				
床面	末面及び壁面の塗装の範囲*6 ―					床面・堰及び床面から堰の 高さ以上までの壁面					
材		堰			_	鉄筋コンクリート					
材料	床面及	及び壁面	jの資	送装*6	_	エポキシ樹脂					
	系	統		名	_	_					
取付	設	置		床		*7 廃棄物処理建屋 T. M. S. L. 12300mm	変更なし				
筃	浸 <i>i</i>	水防護	<ul><li></li></ul>	の 号	_	_					
所		水 防 護 なが必要			_	_					

注記\*1:記載の適正化を行う。既工事計画書には「第5,6,7号機共用,第6号機で申請済」と 記載。

\*2:その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用。

\*3: その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備に使用する場合の記載事項。

\*4:記載の適正化を行う。既工事計画書には「20cm以上」と記載。

\*5: その他発電用原子炉の附属施設のうち浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備で使用する場合の値。

\*6:記載の適正化を行う。既工事計画書には「床・壁の塗装」と記載。

\*7:記載の適正化を行う。既工事計画書には「廃棄物処理建屋1階」と記載。

#### 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(1/15)

				表 1 放射性廃 	X 13 * 2 76 X 76		(1, 10)		変	更 後			
設	系			設計基準效	一 対象施設* <sup>1</sup>	重大事故等	等対処設備*1		設計基準対	対象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>	
設備区分	設 備 区 名 名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	製備分類		名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス	
気体,液体 廃棄物質	濃縮廃液系	容器	濃縮廃液タンク(5号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3		_		_				
廃棄物貯蔵設備体,液体又は固体	廃 液 系		濃縮廃液タンク(6号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	_		変更なし			_		
			N21-F124, 125~気体廃棄物処理系排ガス予熱器	B — 1	クラス3		_		変更なし				
			気体廃棄物処理系排ガス予熱器〜気体廃棄物処理系 排ガス再結合器	B – 1	クラス3		_	変更なし			_		
		主配管	気体廃棄物処理系排ガス再結合器〜気体廃棄物処理 系排ガス復水器	B – 1	クラス3		_	変更なし					
気体,			気体廃棄物処理系排ガス復水器〜気体廃棄物処理系 除湿冷却器	B – 1	クラス3		_		変更なし				
	気		気体廃棄物処理系除湿冷却器〜気体廃棄物処理系活 性炭式希ガスホールドアップ塔	B-1	クラス3		_		_				
液体又は固体廃棄物処理設備	気体廃棄物!		気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔 連絡管	B – 1	クラス3		-	変更なし			_		
件 廃 棄 物	物処理系		気体廃棄物処理系活性炭式希ガスホールドアップ塔 〜気体廃棄物処理系排ガスフィルタ	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$			_		_				
処理設備			気体廃棄物処理系排ガスフィルタ〜気体廃棄物処理 系排ガス真空ポンプ	B – 1	クラス3		_	変更なし			_		
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /			気体廃棄物処理系排ガス真空ポンプ〜気体廃棄物処 理系排ガス循環水タンク	B−1   クラス3   <del>-</del>		_		_					
			気体廃棄物処理系排ガス循環水タンク〜主排気筒入 口配管合流部 B-		クラス3		_		変更なし				
			主排気筒入口配管合流部~主排気筒	B — 1	クラス3		_			_			
			N33-F152A, B~主排気筒入口配管合流部	B — 1	クラス3		_		変更なし				

## 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(2/15)

			変	更 前					変	更 後			
設	至			設計基準文	付象施設*1	重大事故等	等対処設備*1		設計基準対	才象施設* <sup>1</sup>	重大事故等	等対処設備*1	
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	<del>機器</del> クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
			タービン建屋低電導度廃液サンプ	B-1	クラス3		_	変	ご更なし		_		
		容器	タービン建屋高電導度廃液サンプ	B-1	クラス3		_	変	ご更なし				
			廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプ(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_	変	ご更なし		_		
			K11-F003	S	クラス2		_	変	更なし		_		
		主要弁	K11-F004	S	クラス 2		_	変	ご更なし			_	
与			K11-F103	S	クラス2		_	変		_			
気体,			K11-F104	S	クラス2		_	変	ぎ更なし			_	
液体又は固体廃棄物処理設備	放射性ド	主配管	ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ(A),(B)~ K11-F003	B – 1	クラス3		_	変	ご更なし			_	
固   体   感	レ		K11-F003~K11-F004	S	クラス2		_	変	ご更なし			_	
定棄物処理	ン移送系		K11-F004~ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ 出口配管合流部	B — 1	クラス3		_	変	ご更なし			_	
理設備			ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ出口配管合 流部~原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ (B),(D)出口配管合流部	B-1	クラス3		_	変	ご更なし			_	
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口 配管合流部~原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ (A),(C)出口配管合流部	B-1	クラス3		一 変更なし				_		
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口 配管合流部〜放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部 (その1)	B – 1	クラス3		_	変	ご更なし			_	
			ドライウェル高電導度廃液サンプポンプ(A),(B)~ K11-F103	B-1	クラス3		_	変	ご更なし			_	

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(3/15)

				更前		放り土安畝   リクト(5/15)		変 更 後		
設供	系			設計基準文	対象施設*1	重大事故等対処設備*1		設計基準対象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	名 称	耐震重要度	設備分類	重大事故等 機器クラス
			K11-F103~K11-F104	S	クラス2	_	,	変更なし	-	_
			K11-F104~ドライウェル低電導度廃液サンプポンプ 出口配管合流部	B-1	クラス3	_	?	変更なし	-	_
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)~原 子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配 管合流部	B – 1	クラス3	_	3	変更なし	-	_
			原子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)~原 子炉建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配 管合流部	B-1	クラス3	_	3	変更なし	-	_
気体,			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(F)~原 子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)出口配 管合流部	B-1	クラス3	_	į	変更なし	-	_
液体又は固:	放射性ドレ	主配管	原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)出口 配管合流部~原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ (E),(J)出口配管合流部	B-1	クラス3	_	7	変更なし	-	_
液体又は固体廃棄物処理設	ン移送系		原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E),(J)出口 配管合流部〜放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部 (その2)	B-1	クラス3	_		変更なし	-	_
世 設 備			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)~原 子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(D),(I)出口配 管合流部	B-1	クラス3	_	, :	変更なし	-	_
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(E),(J)~原 子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)出口配 管合流部	B-1	クラス3	_	,	変更なし	-	_
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)出口 配管合流部~原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ (C),(H)出口配管合流部	B-1	クラス3	_	7	変更なし	-	_
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C),(H)出口 配管合流部~原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ (E),(J)出口配管合流部	B – 1	クラス3	_	Ž	変更なし	-	_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(4/15)

				更前						変	更 後		
設供	系			設計基準対	村象施設*1	重大事故等	拿対処設備*1			設計基準文	対象施設*1	重大事故等	学対処設備* <sup>1</sup>
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	<b>T</b>	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)~原 子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(G)出口配 管合流部	B – 1	クラス3		_		3	変更なし		-	_
			原子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C),(H)~原 子炉建屋高電導度廃液サンプポンプ(C),(H)出口配 管合流部		クラス3		_		3	変更なし		-	_
			タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(A),(C)~ タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出 口配管合流部	B – 1	クラス3		_		3	変更なし		-	_
気体,			タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出口配管合流部〜放射性ドレン移送系タービン建屋貫通部	B – 1	クラス3		_		7	変更なし		-	_
	放射性ド		タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)~ タービン建屋低電導度廃液サンプポンプ(B),(D)出 口配管合流部	B – 1	クラス3		_		7	変更なし		-	_
液体又は固体廃棄物	ドレン移送系	主配管	タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)~ 配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処 理建屋放射性ドレン移送系)(その1)	B – 1	クラス3		_		73	変更なし		-	_
70処理設備	系		タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(B),(D)~ 配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処 理建屋放射性ドレン移送系)(その2)	B – 1	クラス3		_		2	変更なし		-	_
			放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部(その 1) <mark>〜</mark> 低電導度廃液系収集槽入口収集管	B – 1	クラス3		_		7	変更なし		-	_
			放射性ドレン移送系原子炉建屋貫通部 (その2) ~ タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出 口配管合流部	B – 1	クラス3		_		7	変更なし		-	_
			タービン建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出 口配管合流部~K13-F024	B — 1	クラス3				<u> </u>	変更なし		-	
			配管取合点(7号機放射性ドレン移送系, 廃棄物処 理建屋放射性ドレン移送系)(その1)~タービン 建屋高電導度廃液サンプポンプ(A),(C)出口配管合 流部	B – 1	クラス3		_		7	変更なし		-	_

### 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(5/15)

				表 1 放射性廃								
			変	更前		T			変	更 後	1	
設	系			設計基準対	村象施設*1	重大事故等	学対処設備*1		設計基準	対象施設*1	重大事故等	学対処設備*1
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
	放射性		配管取合点(7号機放射性ドレン移送系,廃棄物処理建屋放射性ドレン移送系)(その2)~高電導度廃液系放射性ドレン移送配管合流部放射性ドレン移送系タービン建屋貫通部~K12-F113 圧力抑制室プール水サージポンプ室高電導度廃液サンプポンプ~高電導度廃液系収集タンク入口収集管(床ドレン廃液用)(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1 B-1	クラス3 クラス3 クラス3	-			変更なし 変更なし 変更なし		-	
	ドレン移送系	主配管	廃棄物処理建屋低電導度廃液サンプポンプ〜低電導度廃液系収集槽入口収集管(6号機設備,6,7号機共用) 廃棄物処理建屋高電導度廃液サンプポンプ〜高電導	B — 1	クラス3	-	_		変更なし			
気体,液体>			度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)(6号機設備,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし	更なし		_
:又は固体廃棄物:			サービス建屋高電導度廃液サンプポンプ〜高電導度 廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用)(6号機 設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし			_
			低電導度廃液系収集槽入口収集管(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし			
処理設備			低電導度廃液系収集槽〜低電導度廃液系収集ポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
	低電		低電導度廃液系収集ポンプ〜低電導度廃液系通水ポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	
	- 導度廃液系	主配管	低電導度廃液系通水ポンプ〜低電導度廃液系ろ過器 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B — 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
	液   系 		低電導度廃液系ろ過器~低電導度廃液系脱塩塔 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			低電導度廃液系ろ過器~K21-F105 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			低電導度廃液系脱塩塔〜低電導度廃液系サンプル槽 (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-			変更なし		-	

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(6/15)

				更前						変	更後		
設	玄			設計基準	寸象施設*1	重大事故等	₽対処設備*1			設計基準	対象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名	称	耐震重要度	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
			低電導度廃液系脱塩塔~K21-F202(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-			梦	変更なし		-	_
			低電導度廃液系サンプル槽〜低電導度廃液系サンプ ルポンプ (6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
	低電		低電導度廃液系サンプルポンプ〜低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部(6号機設備,6,7号機 共用)	B – 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	
	『導度廃液系	主配管	低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管合流部〜低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部 (6 号機設備, 6,7 号機共用)		クラス3	-	_		梦	変更なし			
気体,			低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部〜低 電導度廃液系(6号機設備,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし しょうしん		-	
液体又は			K13-F145〜低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管 合流部(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
は固体廃棄物			低電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部~ P13-F024(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
棄物処理		熱交換器	高電導度廃液系濃縮装置加熱器(5号機設備,5,6,7号機共用)	B — 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
処理設備		(水) <del>火山</del>	高電導度廃液系濃縮装置加熱器(6号機設備,5,6,7号機共用)	B — 1	クラス3	-	_		梦	変更なし			_
	高電	容器	高電導度廃液系収集タンク(5 号機設備, 5,6,7 号機 共用)	B — 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
	電導度廃液系	71'flif	高電導度廃液系収集タンク(6 号機設備, 5,6,7 号機 共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
	※ 系		高電導度廃液系放射性ドレン移送配管合流部〜K13- F008	B – 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
		主配管	高電導度廃液系収集タンク入口収集管 (床ドレン廃液用) (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B — 1	クラス3	-			梦	変更なし		-	_
			高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液 用)(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-				変更なし		-	_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(7/15)

			変	設計基準対象施 耐震重要度 分類 クラ 5, 5 号機	3,000				変	更 後		
設	至			設計基準対	寸象施設* <sup>1</sup>	重大事故等	序対処設備*1		設計基準対	象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>
設備区分	系統名	機器区分	名称		機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	重設*1 重大事故 機器 設備分類	重大事故等機器クラス
			配管取合点 (廃棄物処理建屋高電導度廃液系,5号機 高電導度廃液系) (その2) ~高電導度廃液系収集タ ンク入口収集管 (化学廃液用) (5号機設備,5,6,7号 機共用)	B — 1	クラス3	-	_	3	変更なし			
			高電導度廃液系収集タンク~高電導度廃液系収集ポンプ(5号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	3	変更なし			_
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(5 号機設備, 5, 6, 7 号機 共用)		クラス3	-	_	3	変更なし			_
気体,			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部~高 電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	7	変更なし			_
体としては	高電道		高電導度廃液系収集ポンプ~高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部(5号機設備,5,6,7号機共用)	B — 1	クラス3	-	_	2	変更なし			
液体又は固体廃棄物処理設備	導度廃液系	主配管	高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部~高電導 度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(5 号機設 備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	2	変更なし			_
型 理 設 備			高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ~高電導度廃液 系濃縮装置加熱器(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	2	変更なし			_
in i			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管合流部~K13- F190A, B(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	3	変更なし			_
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置デミスタ(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_	3	変更なし			_
			高電導度廃液系濃縮装置デミスタ〜高電導度廃液系 濃縮装置復水器(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_	3	変更なし			_
			高電導度廃液系濃縮装置復水器~高電導度廃液系蒸留水タンク(5号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし			_
			高電導度廃液系蒸留水タンク~高電導度廃液系蒸留 水ポンプ(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-		3	変更なし			_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(8/15)

			変	 更 前						更後		
設##	系			設計基準效	寸象施設*1	重大事故等	序対処設備*1		設計基準	対象施設*1	重大事故等	
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度	機器	設備分類	重大事故等	名 称	耐震重要度	機器	設備分類	重大事故等
				分類	クラス		機器クラス		分類	クラス		機器クラス
			高電導度廃液系蒸留水ポンプ~高電導度廃液系蒸留 水ポンプ出口配管合流部(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	B — 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系蒸留水ポンプ出口配管合流部~高電導度廃液系脱塩塔(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系脱塩塔~高電導度廃液系脱塩塔出口 配管分岐部(5 号機設備,5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系脱塩塔出口配管分岐部~高電導度廃液系サンプル槽(5号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
気気			高電導度廃液系脱塩塔出口配管分岐部~高電導度廃 液系蒸留水ポンプ出口配管合流部(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
気体,液			高電導度廃液系脱塩塔~高電導度廃液系(5 号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
液体又は固	高電導	)	高電導度廃液系サンプル槽~高電導度廃液系サンプ ルポンプ(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
固体廃棄物処	高電導度廃液系	主配管	高電導度廃液系サンプルポンプ~高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
理設備			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部~高 電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部(5 号機設備, 5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-			変更なし		-	_
			高電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部~K13-F072A,B(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			*2 K13-F072A, B~高電導度廃液系貯留槽(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	С	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系貯留槽入口配管分岐部~配管取合点 (5 号機高電導度廃液系,廃棄物処理建屋高電導度廃 液系) (その1)(5 号機設備,5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部~ K12-F058 出口配管合流部(5 号機設備, 5,6,7 号機共 用)	B-1	クラス3	-	_		変更なし		-	_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(9/15)

			変	更 前					変	更 後		
設	系			設計基準対	寸象施設*1	重大事故等	拿対処設備*1		設計基準対	け象施設*¹	重大事故等	学対処設備*1
備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
			K13-F024~高電導度廃液系収集タンク(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3				変更なし		-	_
			高電導度廃液系収集タンク入口収集管(化学廃液用) (6号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系収集タンク~高電導度廃液系収集ポンプ(6号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
気体,			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部~高 電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ(6号機設備,5,6,7 号機共用)		クラス3		_		変更なし		-	_
液体又は	電		高電導度廃液系収集ポンプ~高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部(6号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
又は固体廃棄物処理設備	高電導度廃液系	主配管	高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部~濃縮廃 液タンク入口配管分岐部(6号機設備,5,6,7号機 共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
処理設備			濃縮廃液タンク入口配管分岐部~高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶出口配管合流部(6号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系収集ポンプ出口配管分岐部~配管取合点(廃棄物処理建屋高電導度廃液系,5号機高電導度廃液系)(その2)(6号機設備,5,6,7号機共用)		クラス3		_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系濃縮装置循環ポンプ~高電導度廃液 系濃縮装置加熱器(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B — 1	クラス3		_		変更なし		-	
			濃縮廃液タンク入口配管分岐部~K13-F058(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
			高電導度廃液系濃縮装置蒸発缶~高電導度廃液系濃縮装置復水器(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(10/15)

			変	更前			重大事故等 機器クラス     名 称     耐震重要度 分類 クラス     機器 クラス       一     変更なし       一     変更なし       一     変更なし       一     変更なし       ー     変更なし						
設	至			設計基準	→ 対象施設* <sup>1</sup>	重大事故等	對処設備*1			設計基準	対象施設*1	重大事故等	幹対処設備*1
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度	機器 クラス	設備分類		名	称			設備分類	重大事故等機器クラス
			高電導度廃液系濃縮装置復水器~高電導度廃液系蒸留水タンク(6号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
			高電導度廃液系蒸留水タンク~高電導度廃液系蒸留 水ポンプ(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
			高電導度廃液系蒸留水ポンプ~高電導度廃液系脱塩 塔(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
			高電導度廃液系脱塩塔~高電導度廃液系サンプル槽 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
気体,			高電導度廃液系脱塩塔~低電導度廃液系高電導度廃 液配管合流部(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
液体又	高電		高電導度廃液系サンプル槽~高電導度廃液系サンプ ルポンプ(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
液体又は固体廃棄物処	導	主配管	高電導度廃液系サンプルポンプ~高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
物処理設備	<b></b>		高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部~5 号機高電導度廃液系貯留槽入口配管合流部(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	
			5 号機高電導度廃液系貯留槽入口配管合流部~K13- F145(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
			高電導度廃液系サンプルポンプ出口配管分岐部~ K13-F120(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3	-	_		変	更なし		-	_
			*2 K13-F120~放出カナル(6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	С	クラス3	-	_			更なし		-	_
			配管取合点 (5 号機高電導度廃液系, 廃棄物処理建屋 高電導度廃液系) (その1) ~5 号機高電導度廃液系 貯留槽入口配管合流部 (6 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_			更なし		-	_

### 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(11/15)

			2	1 //久/11工/元:	来1000元来100	以 小工	リスト(11/15)				
	系統名     医互抑制室プール水排水系       素統名     主		変	更 前					変 更 後		
設	玄			設計基準対	寸象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>		設計基準対象施設*1	重大事故等	等対処設備*1
設備区分	<sup> </sup>	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 機器 分類 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
			U49-F071~U49-F072	B - 1	クラス3		_		変更なし		_
			圧力抑制室プール水サージタンク室入口~圧力抑制 室プール水サージポンプ出口配管合流部(5 号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
			圧力抑制室プール水サージポンプ出口配管合流部~ 圧力抑制室プール水サージタンク(5号機設備,5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
			圧力抑制室プール水サージタンク〜圧力抑制室プー ル水サージポンプ(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		_
気体	圧力抑		圧力抑制室プール水サージポンプ〜圧力抑制室プー ル水サージポンプ出口配管合流部(5 号機設備,5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
本, 夜本	,制室プ-	       主配管	E11-F047〜圧力抑制室プール水サージタンク室入口 配管合流部(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
又	-ル水排水系		圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部 〜圧力抑制室プール水サージタンク室入口(5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	<b></b>		配管取合点(6号機圧力抑制室プール水排水系,5号機圧力抑制室プール水排水系)~圧力抑制室プール水排水系)~圧力抑制室プール水サージタンク室入口配管合流部(5号機設備,5,6,7号機共用)	B — 1	クラス3		_		変更なし		_
			U49-F061~U49-F062入口配管分岐部(6号機設備,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
			U49-F062 入口配管分岐部~配管取合点(6 号機圧力 抑制室プール水排水系,5 号機圧力抑制室プール水排 水系)(6 号機設備,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
			U49-F072~U49-F062入口配管分岐部(6号機設備,6,7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_
	廃ス		復水浄化系逆洗水受タンク	B-1	クラス3		_		変更なし		_
	ヘラッジ系	容器	焼却炉建屋廃スラッジタンク(5 号機設備, 5,6,7 号 機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(12/15)

			変	更前					変	更 後		
設供	系			設計基準文	対象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>		設計基準対	象施設*1	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>
設備区分	系統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
			原子炉冷却材浄化系逆洗水受タンク~原子炉冷却材 浄化系逆洗水移送ポンプ	B-1	クラス3		_		変更なし			_
			原子炉冷却材浄化系逆洗水移送ポンプ〜廃スラッジ 系原子炉建屋貫通部	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			復水浄化系逆洗水受タンク~復水浄化系逆洗水移送 ポンプ	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			復水浄化系逆洗水移送ポンプ〜廃スラッジ系タービ ン建屋貫通部	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			廃スラッジ系原子炉建屋貫通部~K21-F171	B — 1	クラス3		_		変更なし		-	_
			廃スラッジ系タービン建屋貫通部~K21-F173	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
気体, 液			廃スラッジ系受ポンプ~K21-F220A, B(5 号機設備, 5,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし			_
液体又は四	廃ス		K21-F220A, B~乾燥機給液タンク(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
回体廃棄	ラッジ系	主配管	K21-F220A, B~K21-F223A, B(5 号機設備, 5, 6, 7 号機 共用)	B-1	クラス3		_		変更なし			_
固体廃棄物処理設備			K21-F223A, B~配管取合点(5 号機廃スラッジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ系)(5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし			_
			配管取合点 (廃棄物処理建屋廃スラッジ系, 5 号機廃 スラッジ系) ~K21-F223A, B (5 号機設備, 5, 6, 7 号機 共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし			_
			配管取合点 (5 号機廃スラッジ系, 焼却炉建屋廃スラッジ系) ~K21-F401A, B (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)		クラス3		_		変更なし			_
			K21-F401A, B~焼却炉建屋廃スラッジタンク(5 号機 設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3				変更なし		-	
			焼却炉建屋廃スラッジタンク〜焼却炉建屋廃スラッジタンク出口配管合流部(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(13/15)

			変更	前						変	更後		
設供	系			設計基準	対象施設*1	重大事故等	対処設備*1			設計基準	対象施設*1	重大事故等	穿対処設備*1
設備区分	系統名	機器区分	名	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス	名	称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等 機器クラス
			焼却炉建屋廃スラッジタンク出口配管合流部〜焼却炉 建屋廃スラッジポンプ(5号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	
			焼却炉建屋廃スラッジポンプ〜焼却炉建屋廃スラッジ ポンプ出口配管分岐部(5号機設備,5,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	_	_		梦	変更なし		-	_
			焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管分岐部〜焼却炉 建屋廃スラッジ供給ポンプ(5号機設備,5,6,7号機共 用)	B-1	クラス3	_	_		3	変更なし		-	_
			焼却炉建屋廃スラッジ供給ポンプ〜雑固体系焼却炉(5 号機設備,5,6,7号機共用)	B-1	クラス 3	_	_		梦	変更なし		-	_
			K21-F401A, B~焼却炉建屋廃スラッジポンプ出口配管分岐部(5号機設備, 5,6,7号機共用)	B — 1	クラス 3	_	_		梦	変更なし		-	_
気体, 液体			焼却炉建屋廃スラッジタンクデカント部〜焼却炉建屋 廃スラッジタンク出口配管合流部(5号機設備,5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3	_			梦	変更なし		-	_
又は	廃 ス ラ	主配管	廃スラッジ系原子炉建屋貫通部~原子炉冷却材浄化系 粉末樹脂沈降分離槽(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	_	_		梦	変更なし		-	_
固体廃棄物	ッ   <sup>-</sup>   ジ系	H	廃スラッジ系タービン建屋貫通部~原子炉冷却材浄化 系粉末樹脂沈降分離槽(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	_	_		梦	変更なし		-	_
処理設備			K21-F171~原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	_	_		梦	変更なし		-	_
備			K21-F173~原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
			K21-F105~原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	_	_		梦	変更なし		-	_
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽~原子炉冷却 材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ (6 号機 設備, 6,7 号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		梦	変更なし		-	_
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ~原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管合流部(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3	-	_		Z	変更なし		-	_
			K21-F202~使用済樹脂槽(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3	_	_			変更なし		-	

# 表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(14/15)

	機器       機器       度スラッジを       主		変	更前					変	更後		
設	系			設計基準対	才象施設* <sup>1</sup>	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>		設計基準対	け象施設*¹	重大事故等	等対処設備* <sup>1</sup>
備区分	統名	機器区分	名称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称	耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
			K21-F201~使用済樹脂槽 (6 号機設備, 6, 7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			使用済樹脂槽〜使用済樹脂槽デカントポンプ (6 号機 設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
			使用済樹脂槽デカントポンプ〜低電導度廃液系収集 槽入口収集管(6号機設備,6,7号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	_
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽~スラッジ 移送ポンプ入口配管合流部(6号機設備,6,7号機共 用)		クラス3		_		変更なし			_
与	盛		スラッジ移送ポンプ入口配管合流部~スラッジ移送 ポンプ(6号機設備,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし			_
気体,液体	ラ	主配管	使用済樹脂槽~スラッジ移送ポンプ入口配管合流部 (6号機設備,6,7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
体又は国	ジ   系 		スラッジ移送ポンプ~スラッジ移送ポンプ出口配管 分岐部(6 号機設備, 6,7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
又は固体廃棄物処理設備			スラッジ移送ポンプ出口配管分岐部~配管取合点 (廃棄物処理建屋廃スラッジ系,5 号機廃スラッジ 系) (6 号機設備,6,7 号機共用)		クラス3		_		変更なし			_
理設備			スラッジ移送ポンプ出口配管分岐部~原子炉冷却材 浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管 合流部(6号機設備,6,7号機共用)		クラス3		_		変更なし			_
			原子炉冷却材浄化系粉末樹脂沈降分離槽デカントポンプ出口配管合流部~低電導度廃液系収集槽入口収集管(6号機設備,6,7号機共用)		クラス3		_		変更なし		-	_
			K13-F190A, B~濃縮廃液タンク(5号機設備, 5, 6, 7号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_
	縮廃液	主配管	濃縮廃液タンク~濃縮廃液ポンプ (5 号機設備, 5, 6, 7 号機共用)	B – 1	クラス3		_		変更なし		-	
	糸     		濃縮廃液ポンプ~乾燥機給液タンク (5 号機設備, 5,6,7 号機共用)	B-1	クラス3		_		変更なし		-	_

表 1 放射性廃棄物の廃棄施設の主要設備リスト(15/15)

			変更前					変					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1				設計基準対象施設*1		重大事故等対処設備*1	
				耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	名 称		耐震重要度 分類	機器 クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
気体,液体又は固体廃棄物処理設備	濃縮廃液系	主配管	配管取合点(廃棄物処理建屋濃縮廃液系,5号機固化系)~乾燥機給液タンク(5号機設備,5,6,7号機共用) K13-F058~濃縮廃液タンク(6号機設備,5,6,7号機共用) 濃縮廃液タンク~濃縮廃液ポンプ(6号機設備,5,6,7号機共用) 濃縮廃液ポンプ~配管取合点(廃棄物処理建屋濃縮 廃液系,5号機固化系)(6号機設備,5,6,7号機共	B-1 $B-1$ $B-1$	クラス3 クラス3 クラス3 クラス3	-		変更なし 変更なし 変更なし 変更なし					
		排気筒	用) 主排気筒	S *3 C - 1 *4	_	_		変更なし				_	
堰その他の設備		原子炉格納容器 本体外に設置さ れる流体状の放 射性廃棄物を内 包する容器から の流体状の放射 性廃棄物の施設 外への漏えいを 防止するために 施設する堰	廃棄物処理建屋1階トラック室出入口(6号機設備,5,6,7号機共用)	В	_			変更なし					

注記\*1:表 1 に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「<mark>8</mark> 原子炉本体の基本設計方針,適用基準及び適用規格」に記載する「表 1 原子炉本体の主要設備リスト」の「付表 1」による。

\*2:本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。

\*3:内筒の耐震重要度分類を示す。
\*4:外筒の耐震重要度分類を示す。